

縮尺 20 万 分 の 1

土 地 分 類 図 付 属 資 料

( 大 分 県 )

昭 和 47 年 3 月

経 済 企 画 庁 総 合 開 発 局



## 縮尺20万分の1土地分類図付属資料目次

A	土地条件等の概要	1
1.	地形区分とその性状等の概要	3
2.	表層地質の分布とその性状等の概要	6
3.	土壤統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	10
4.	土地利用現況等の概要	13
4-1	土地利用現況の概要	13
4-2	土地利用可能性分級の地域別の概要	17
B	統計の部	21
1.	土地利用現況	22
1-1	土地利用現況別面積市町村別内訳	22
	(参考) 土地利用現況市町村別内訳(統計に基づくもの)	26
1-2	D. I. D. おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	30
2.	自然的土地条件	32
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳	32
2-2	標高区分別面積市町村別内訳	34
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	36
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳	40
2-5	土壤統群分布面積市町村別内訳	44
3.	土地利用可能性分級	52
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	52
3-2	土地利用可能性分級と自然条件との関連	54
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	54
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	54
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連	56
3-2-4	土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連	56
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	58
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳	60



# 利用者のために

## I 編集方針

この附属資料は縮尺2万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成した。

たとえば2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は「傾斜区分図」(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-2表「D、I、Dおおむね10万以上の都市の土地利用現況の内訳」は対応した土地分類図を作成しなかったので統計資料等によって作成した。

なお、1-1表「土地利用現況別面積」は土地利用現況図により図上面積を測定して作成した表のほか、別に県の統計資料によるものを参考に掲げた。

以上両者の関連を示すと次表のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

統計表の名称	1 地形 分類 図	2 起伏量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 分 類 図 (平面的分類図)	5 表 層 地 質 分 類 図 (垂直的地分類図)	6 土 壤 分 類 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 分 級 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土地利用現況図)	9 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 資 料 等
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳								○			(○)
1-2 D、I、Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2 標高区分別面積市町村別内訳										○	
2-3 地形区分面積市町村別内訳	○										
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連							○		○		
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳								○	○		○

## II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合には最小図示単位として1Km<sup>2</sup>(図上では5mm四方)を原則とし、特殊な場合においても最小径400m(図上で2mm)を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。

とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや小さな目に数値が出る傾向がある。また、道路、河川等はその周辺の分類に含まれるのでやや大きな目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし項目の構成比率等を用いるようにされたい。

## III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事項のないもの

「 」空白は編集時において資料がなく不明のもの

## IV 県統計等の資料について

### ア. 市町村別面積

県全体面積6,324Km<sup>2</sup>は全国都道府市区町村別面積調(建設省国土地理院昭43年版)により、単位はKm<sup>2</sup>とし単位未満は4捨5入を原則とした。ただし、九重町は熊本県阿蘇郡小国町、南小国村の境界未定のため町面積は大分県農林水産統計年報の資料によった。

### イ. 土地利用現況面積

(資料)

農 地 「大分県農林水産統計年報」(1968~1969版)

草 地 「 同 上 」( 同 上 )

永年収草地は「森林でない原野」187Km<sup>2</sup>のうちの「採草放牧に利用されているもの」117Km<sup>2</sup>とした。

未利用草地312Km<sup>2</sup>は「森林でない原野」のその他70Km<sup>2</sup>とした。

林 地 「大分県農林水産統計年報」(1968~1969版)

人工林1,893Km<sup>2</sup>には人工林伐採跡39Km<sup>2</sup>特殊樹林(単位に満たない)を針葉

樹に含む。天然林 1,995Km<sup>2</sup>には竹林 1,75Km<sup>2</sup> を針葉樹に含む。

宅地 県統計「土地概要調書」および大分県農林水産統計年報を資料とした。  
 公共用地その他 総面積より、農地、草地、林地、宅地面積を差引いた数である。

## V 調査機関一覧表

	機 関 名	住 所
総 括	大分県農政部農地課	大分市大手町3丁目
地 形 分 類	大分大学教育学部	大分市旦ノ原
	私立大分実業高等学校	大分市桜ヶ丘7
表 層 地 質	大分県商工労働部工鉱課	大分市大手町3丁目
	大分大学教育学部	大分市旦ノ原
	別府市別府鶴見ヶ丘高等学校	別府市鶴見
土 壤	大分県農業技術センター	宇佐市北宇佐
	大分県日田林業試験場	日田市田島町大字高田
土 地 利 用 現 況	大分県農業技術センター	宇佐市北宇佐
	大分県林業水産部林政課	大分市大手町3丁目
土地利用可能性分級	大分県農業技術センター	宇佐市北宇佐
	大分県日田林業試験場	日田市田島町大字高田





## A 土地条件等の概要



# 1 地形区分とその性状等の概要

大分県は、地体構造からみると内帯と外帯とに分れる。内帯は佐賀関・戸次・野津市を経て祖母山断層崖に至る線以北で、大野山地を除けば瀬戸内海陥没地帯に属する。かつての阿蘇水道は火山活動の著しかったところで英彦山・釈迦岳・久住山・由布岳・両子などの諸火山が噴出しており、万年山耶馬溪火山地のように広い地域にわたる溶岩台地の形成もある。盆地・平野が散在している。

外帯山地の海部山地は第三紀にはげしい地殻運動をうけ、一たん準平原化したものが再び上昇隆起して地形侵蝕の若返りで現在深い溪谷が再度刻まれつつある。山地の走向は北東から南西であるため、南北の交通を著しく阻害している。海岸はリアス式海岸で幾多の谷は深い入江をつくっている。

5万分の1地形図上で計測した起伏量(凡例参照)、高度、傾斜、地質などで地形を山地・火山地・丘陵・火山性丘陵・低地その他に分類し、地形型によって次のような地形区分をなした。

## 1-1 山地

### 1-1-1 日田下毛山地

1000~1200m級の山が集まっている。英彦山・津民山地(1-A-1)は、新第三紀に噴出した溶岩(安山岩類と凝灰質角礫岩)の台地が開析されたもので、英彦山(1200m)、釈迦ヶ岳(844m)障子ヶ岳(940m)、岳波鬼山(1037m)、鷹ノ巣山(979m)、犬ヶ岳(1131m)など奇岩怪峰に富むメサやビュートが多数集まり広く国定公園に指定されている。更に太平山(597m)、雁股山(807m)、経読岳(952m)、中摩殿畑山(911m)、樋桶山(876m)などの開析溶岩台地があるが、中摩殿畑山・樋桶山は山国川上流と津民川によって示される鍋状断層によって抱かれている。

津江山地(1-A-2)は、先の英彦山・津民山地(1-A-1)と同じく開析溶岩台地で安山岩類および凝灰質角礫岩からなり釈迦ヶ岳(1231m)、権現岳(1211m)、酒天童子山(1181m)などは岩峰に富む。谷の侵蝕は著しく大で、全く開析されて原形を留めない。一旦壮年に達した川が若返りつゝある。

大山川の支流の鯛生川・川原川などは最も盛んに回春している。鯛生金山はこの山地にあって、鉱脈は輝石安山岩中の石英または方解石中にある。大山川本支流の侵蝕谷は日田杉の主要産地である。

### 1-1-2 大野山地

大野山地(1-B)は傾動地塊であり、西南部は、流紋岩・安山岩と少量の堆積岩とからなる累層の大野火山岩類によって構成される。木原山(669m)、鑑ヶ岳(859m)、三宅山(731m)、城山(774m)などがあるが1000mをこえる山はない。この東北部は白堊紀層からなる霊山(596m)、障子岳(751m)、本宮山(608m)、御座岳(797m)、雲背岳(798m)、天面山(403m)などがある。その東北は低山性の第三紀層からなる古城山(165m)がある。大野山地(1-B)は東北東-西南西に走り、高さ700~800mの山陵であって、一般に定高性の平頂なる山地である。北西は高く、東南に向かって低く傾斜している。山地の西南部では、北西側は比高100~200mであり、南東側では比高400~500mであって、その断面は非対称である。

### 1-1-3 海部山地

地質は北から南へ、結晶片岩、秩父系の上部古生層、四万十層群と帯状配列をなしている。現在の地形は中生代白堊紀中期に最初に褶曲運動によって山地を形成した。この褶曲山地が侵蝕され、その周辺に流出して堆積した地層が上部白堊紀層である。白堊紀以後も引続いて侵蝕が進められ準平原に達した。第三紀から

起った運動は断裂を伴って今もなお隆起を続けている。断裂運動は、火山活動と祖母山断層崖を初め数多くの断層を生じた。

祖母・傾山地に秩父系の上部古生層を貫いて、第三紀の祖母山安山岩、祖母山流紋岩の噴出があり、また花崗岩の貫入もある。また秩父系中に塩基性火成岩の岩床がひんばんに併発し、時には走向断層に沿って噴き出し傾斜断層によって切断されている。祖母山断層崖から白杵にいたる線以南は、衝上隆起し内帯に高く外帯に緩傾斜している。四万十層群からなる部分は衝上断層によって南に高く北に向って緩傾斜している。東部九州山地(1-C-1)は傾動地塊にあたる。山地は割合に簡単な凹凸をなし、白杵八代線に近い所にそびえる祖母・傾山地は満壮年山地であり、そのほかには高原状の地貌を呈する幼年山地、狭い平頂峰をもつ早壮年山地、基盤ヶ岳のように石灰岩地方特有の地形と隆起準平原遺物を示すものなどがある。尾平や木浦の錫・鉛・亜鉛・砒・硫化鉄、各地上部古生層中のマンガ・石灰岩などが開発されている。佐賀ノ関山地(1-C-2)は、主として結晶片岩からなる変成岩類で構成され、上昇による早壮年期の一開析地帯である。中央やや南寄りに椛木山(484m)を主峰とする椛木山脈がほぼ340mの高度で東北東-西南西に走って分水嶺をなす。山地は大部分第二次林のクロマツ林で覆われている。

## 1-2 火 山

### 1-2-1 北部火山地

万年山耶馬溪火山地(II-A-1)は万年山(1140m)を盟主とし、メサは万年山(1140m)、八面山(658m)、大岩扇山(691m)、小岩扇山(720m)などあり、ビュートでは宝山(816m)、青野山(850m)、伐株山(685m)などがある。比較的広い溶岩台地は日田下毛山地の東南に於いて、平均4~500m内外の高度に明瞭な溶岩台地が発達しており耶馬溪溶岩とよばれる溶凝灰岩からなる。この岩石の上部は溶岩状をなし筑紫溶岩よりも開析の程度が小さいために比較的広い溶岩台地を形成している。台地は山国川・駅館川・玖珠川・大山川の本支流にけずられ、溶岩下の集塊岩が現われ、溶岩と集塊岩との水蝕の差によって耶馬溪の名勝を形成している。この耶馬溪溶岩の噴出の中心は不明であるが、玖珠盆地付近であろう。メサ・ビュート・台地麓の崖錐などの傾斜地はスギの植林地である。万年山耶馬溪火山地に付属する盆地には、日田盆地(II-A-2)、玖珠盆地(II-A-3)安心院盆地(II-A-4)、山国川盆地(II-A-5)がある。日田盆地(II-A-2)は断層盆地で、周囲に台地をもち台地(II-A-2-b)は畑・水田であり、畑には畑地灌漑がみられる。盆地床(II-A-2-a)は、扇状地性低地であって日田市街地の立地と水田化がみられる。玖珠盆地(II-A-3)は、湖成盆地で、南北に台地(II-A-3-b)があり水田・畑に開かれる。盆地床(II-A-3-a)は扇状地性低地であって森・玖珠の市街地の立地と水田化がみられる。安心院盆地(II-A-4)は東邦に台地(II-A-4-b)があり水田・桑畑・果樹園化され、盆地床(II-A-4-a)は扇状地性低地で市街地・村落が立地し水田化されている。山国川盆地(II-A-5)は水田化され村落立地する。

### 1-2-2 中部火山地

両子火山地(II-B-1)は輝石角閃石安山岩の成層粗粒火砕岩上にのる角閃石輝石安山岩の溶岩と両子山(721m)などの角閃石安山岩の溶岩円頂丘などからなる。火山体の斜面は開析が進み北西麓を除き全く原表面を失なうが、放射状の谷の配列によって、円錐火山としての地形的特徴をなお保っている。溺れ谷の扇状地性低地の竹田津低地(II-B-1-a)も付属する。

九重速見火山地(II-B-2)は、角閃石安山岩・輝石安山岩の溶岩より構成される。久住山(1788m)を盟主とし、各火山の大部分はトロイデであり、鶴見・由布・九重付近はトロイデの集合地域

で裾野が展開している。その配列は東北―西南向き方向をとり、各火山は侵蝕されている。これは火山活動の途中またはその終わった頃に集中豪雨によりトロイデは侵蝕されて荷重はその上方または裾野の下方に第二次堆積地形である裾野扇状地を展開しているところもある。また裾野が扇状地礫層からできているところもある。裾野には村落が立地し役肉用牛、乳牛の放牧、採草地、林地である。また自衛隊の演習場もある。この火山地の盆地は由布院盆地（Ⅱ-B-3）であり、これは湖成盆地にして扇状地性低地で水田化され温泉、村落を立地させる。姫島火山地（Ⅱ-B-4）は瀬戸内・山陰系火山帯の交点に当り、4つの火山島がトンボロでつながりトロイデ・溶岩台地・爆裂火口跡などがある。

#### 1-2-3 南部火山地

直入庄内火山地（Ⅱ-C-1）は阿蘇溶結凝灰岩からなる台地である。庄内台地（Ⅱ-C-1-a）は水田化されている。阿蘇外輪山東麓火山地（Ⅱ-C-2）は阿蘇溶結凝灰岩より構成されているが北部と南部は開析され、中央部は裾野の原面が勾配1/33位の割で台地状にのこって畑が卓越するが水田もある。裾野には古期寄生火山もある。

#### 1-3 丘陵地

丘陵地は散在し構成層は溶岩・火成碎屑岩・火山灰砂などである。その特色は、五和丘陵（Ⅲ-C）は分離丘陵、長峯丘陵（Ⅲ-A）は沈降形山麓線を示す。杵築丘陵（Ⅲ-B-1）は西半が扇状地礫層の丘陵地である。早水台丘陵（Ⅲ-B-2）は海蝕崖をもち、黒色土の下位層である暗褐色火山灰層および安山岩角礫層から二つの旧石器文化層が発見され、とくに最下位層のものは下部旧石器的「石英製石器」として注目される。大野盆地（Ⅲ-D-1）は、北は鎧ヶ岳断層崖、南は祖母山断層崖にはさまれた陥没地帯であって、火山灰砂礫による丘陵性の盆地で、大野川河成段丘（Ⅲ-D-1-e）、三重低地（Ⅲ-D-1-a）緒方低地（Ⅲ-D-1-b）、竹田低地（Ⅲ-D-1-c）、朝地低地（Ⅲ-D-1-d）などに分れる。平坦または緩傾斜する火山灰砂台地が散在する。台地、段丘を被覆する黒色火山灰の下位層にあたる黄褐色火山灰層はナイフ形石器、その他の細石器を出土する。台地・段丘・扇状地性低地は、水田または畑、桑園である。

#### 1-4 低地

つぎにみる4区分の低地と日田・玖珠・由布院・安心院・山国川・大野などの盆地は県民の生活舞台となっているが、とくに中津平野と大分平野は県内の二大人文化地域とほぼ一致している。

##### 1-4-1 豊前平野

中津平野（Ⅳ-A-1）は、山国川、犬丸川、五十石川、伊呂波川、駅館川、寄藻川桂川、真玉川などの沖積した扇状地性低地で、古くから水田化され、一部には現在圃場整備事業が実施されている。

中津高田低地（Ⅳ-A-1-a）、新しく水田、畑化された豊前海干拓地（Ⅳ-A-1-b）、果樹園、畑、水田化され村落立地する山国川旧三角州扇状地（Ⅳ-A-1-c）、駅館川下流台地（Ⅳ-A-1-d）横田台地（Ⅳ-A-1-f）、真玉台地（Ⅳ-A-1-g）、高田台地（Ⅳ-A-1-h）、畑地の宮熊台地（Ⅳ-A-1-e）などに分れる

##### 1-4-2 別府湾北岸低地

別府国東低地（Ⅳ-B-1）は、両子火山地を開析した放射谷下流の氾濫原と砂州間の低地、八坂川氾濫原とからなり水田、七島蘭田の杵築国東低地（Ⅳ-B-1-a）、水田、畑、オレンジベルトの一部をつくる杵築国東台地（Ⅳ-B-1-b）、おもに別府市街地と温泉群の立地する別府低地とに分れる。

### 1-4-3 大分平野

南蛮貿易で栄えた大友氏の城下町としての歴史をもち、現在は東九州の管理中枢都市となり、更に大分地区新産業都市の中心にあたる地域である。大分低地(N-C-1)は、大分川及び大野川下流の洪福平野にして沿岸で両者は全くつながっている。臨海平野は大分市街地・鶴崎市街地及び工場群が立地し、洪福平野では水田、畑、村落、工場が立地している、大分鶴崎低地(N-C-1-a)、高燥な扇状地性低地と砂丘間の堤間地の地下水面の高い扇状地低地からなる大分低地(N-C-1-b)、新しい臨産工場用地と大工場群が立地する大分鶴崎埋立地(N-C-1-c)、水田、畑、桑畑、果樹園と宅地造成の進められている大分川下流台地(N-C-1-d)大野川下流台地(N-C-1-e)畑、果樹園、林地の神崎海岸段丘(N-C-1-f)とに分れる。

### 1-4-4 海部海岸低地

壮年山地である東部九州山地の海岸部は、辺縁下撓曲してリアスを形成し、低地の断続する海部低地(N-D-1)をつくり、臼杵市街地立地する臼杵低地(N-D-1-a)、畑の臼杵台地(N-D-1-b)セメント工場とみかん園の青江川・津久見川扇状地(N-D-1-c)佐伯市街地と水田、畑の立地する佐伯低地(N-D-1-d)工場群立地する佐伯埋立地(N-D-1-e)垂角礫質・砂礫質の扇状地性低地に風化した中生層土壌をうすく客土して開畑し、サツマイモ、落花生、ハダカ麦、温州みかんをつくる蒲江低地(N-D-1-f)に分れる。(浅野 勝)

## 2 表層地質の分布とその性状等の概要

### 2-1 表層地質の分布について

大分県内にみられる主な地質を下位のもの(古いもの)から列挙すると、次の7種に大きくまとめられる。

- A. 変成岩類
- B. 古生層
- C. 中生層
- D. 花崗岩類 斑岩類
- E. 第三紀層
- F. 火山岩類
- G. 第四紀層

これら7種の地層や岩石類について、その大要を述べると、

#### 2-1-1 変成岩類

大分県下の変成岩類には三波川結晶片岩帯、領家変成岩帯、筑後変成岩帯、ゴットランド系および先ゴットランド系の四つがあげられる。

三波川結晶片岩帯は佐賀関半島一帯に分布し、幅南北8Km、東西延長27Km、県下の変成岩中、最大の面積を占める。黒色の石墨片岩類のほか、緑泥石を多く含む緑色片岩類、千枚岩、砂岩片岩などからなり、脊梁より南側には、みかぶ型斑岩質の緑色岩がある。構造的には北々東から西南西方向を軸とする、非対称的ドーム状背斜構造をしめす。岩質・層序についてはそれぞれ四国の吉野川層群に対比され、その西方延長にあたると思われる。

領家帯は杵築市の北部および大田村、山香町の一帯に断片的に露出する。黒雲母片麻岩・両雲母片麻岩・角閃石・柘榴石・珪線石などを含む雲母片麻岩からなり、片麻岩が片状角閃石・黒雲母石英閃緑岩と接する部分はとくに葉状構造の顕著な迸入片麻岩状を呈する。片理の方向は西部では東西性が強く、南に急傾斜、東部では北東性が強く、北に傾斜する。この地域では古生層の原岩は全然みることができない。

筑後変成岩は日田市の南方、福岡県境にわずかに露出するのみである。中国地方の本山変成岩の延長とされ、片岩ないし准片岩が分布する。

ゴットランドおよび先ゴットランド系は臼杵一八代線以南の古生層地帯に、レンズ状・細脈状に挟みこまれている。淡緑色の酸性凝灰岩ないし千枚岩質粘板岩を主とし、一部に石灰岩・細粒礫岩・暗灰色砂岩および粘板岩・濃緑色チャートなどを伴うゴットランド系と片麻岩・片岩・圧砕花崗岩などの先ゴットランド系からなる。分布地域は北から臼杵川流域、大野群三重町南方、緒方町九折の豊栄鉱山付近、三国峠付近などである。

## 2-1-2 古生層

古生層には臼杵一八代線以南の秩父古生層と野津原町から大野町にかけて分布する野津原古生層がある。

秩父古生層は北から臼杵帯古生層・鎮南山帯古生層・津久見帯古生層・明治帯古生層・中野帯古生層などが、東北東から西南西方向に幅12Kmにわたって帯状に配列する。南限は津井一木浦構造線である。地質構造は外帯古生層の典型的な特性をもち、古生層内には黒瀬川構造帯や中生層がサンドウィッチ構造をなして薄く挟みこまれている。生成時代は下部二疊紀から中部二疊紀にわたっており、本地質図では臼杵帯古生層・鎮南山帯古生層が主として粘板岩からなることからチャート以外の部分を古生層の粘板岩帯とした。その南の津久見帯古生層・明治帯古生層・中野帯古生層は石灰岩・チャートの部分を除いて、砂岩・粘板岩互層とした。

野津原古生層は大分市西南方の野津原町から大野町・朝地町の一帯にかけて北東方向に分布する。黒雲母粘板岩および黒雲母ホルンフェルス・変成苦鉄質火山岩・雲母片岩・角閃石片岩などがあるが、黒雲母花崗岩・閃緑岩・斑岩・コーイランド岩などの貫入をうけて変質がはげしく、化石は未発見であり、正確な時代は不明である。本図では野津原古生層を古生層の粘板岩として表示した。

## 2-1-3 中生層

中生層には大野川の流域に発達する大野川層群、秩父古生層中にサンドウィッチ構造をなして挟みこまれている中生層、津井一木浦構造線の南側にひろがる時代未詳の四万十累帯の三つがあげられる。

大野川層群は礫岩・砂岩・頁岩の繰返しからなり、非常に厚く、北東から西南方向に比較的よく続く、犬飼町以西では大野川層群は阿蘇熔結凝灰岩により大部分が被覆されている。頁岩中には貝化石が多く、白堊系のギリヤーク統から浦河統にわたる一連の堆積物と考へられており、北西側が古く、南東側が新しい。

本地質図ではそれぞれ礫岩・砂岩・頁岩に分けて記載した。

秩父古生層に挟みこまれている中生層は溜水、落谷、佩楯山、山部、新開、津井などにそれぞれ分布し、含有化石からみてジュラ系から白堊系におよぶものである。礫岩・砂岩・頁岩などからなるが、礫岩が最も多く、これらの層を礫岩として表示した。

四万十累帯は県南部、津井一木浦構造線以南の時代未詳の中生層で、四国の四万十川層群の西方延長にあたる。北から南に砂岩・粘板岩・礫岩の互層からなる番匠帯、砂岩・頁岩からなる大入島・堅田帯、砂岩・粘板岩の互層からなる蒲江帯などがある。これら大分県内に分布する四万十累帯は白堊系からジュラ系に属する堆積物であろうとされている。

## 2-1-4 花崗岩・斑岩類

花崗岩には臼杵一八代線以北の内帯花崗岩（中生代末）と県南部宮崎県境付近に露出する外帯花崗岩（上

部中新世)の二種がある。後者は宮崎県北部の大萌山バソリスの一部である。

内帯花崗岩は国東半島の東南海浜の低地、八坂川の侵食低地である山香町の中央部、安心院町の丸田・鶴付近、山国川の下流、大分市の西南、野津原町から大野町・朝地町の各地、日田郡南部中津江村・上津江村などに分布する。これらは花崗岩の他、閃緑岩・斑岩・コートランド岩などを伴う。内帯花崗岩は中生代末の貫入と考えられている。

外帯花崗岩は県南の宮崎県境にわずかに分布する。黒雲母花崗岩～花崗閃緑岩などがあり、周辺の古生層や中生層などに熱変成～鉍化作用を与えている。尾平・木浦・豊栄の各鉍山には本花崗岩に由来する錫・亜鉛・鉛・銅・硫化鉄鉍などの鉍床がある。

斑岩類は外帯花崗岩に関連をもつもので、大萌山花崗岩の外側に大きな環状の岩脈(延長約40Km)をなして中・古生層を貫いており、花崗斑岩のほか一部石英斑岩などからなる。これら外帯の花崗岩や斑岩類は上部中新世に貫入生成されたものである。

蛇紋岩は三波川結晶片岩帯・野津原古生層・秩父古生層中に貫入しており、その一部には中生層(白垩系)を貫いているものであり、同一時期の貫入物であるとする中生代末期となる。

### 2-1-5 第三紀層

第三紀層には県南の宮崎県境付近にある見立礫岩層(古第三系または新第三系)大分市南部から野津原町さらに南方の千歳村に分布する豊州累層群中の碩南層群(上部中新世～鮮新世)玖珠盆地の玖珠層群(中新世～鮮新世)、日田郡上津江村の星原層(上部中新世)などがある。

見立礫岩層は海拔1000m以上の高地にのみ存在する特異な礫岩層である。花崗岩・砂岩・チャート・黒色粘板岩の礫を含む堅硬な岩質であり、化石は発見されず、古第三系下部始新統または新第三系中新統といわれている。見立礫岩層は礫岩として表示した。

碩南層群は火山源のシルト・砂・礫などを含み、珪藻土層を挟むことがある。玖珠層群は砂岩・頁岩・凝灰岩からなり、星原層は湖成層であって火山灰質である。碩南層群・玖珠層・星原層などを一括して、凝灰岩として表示した。

### 2-1-6 火山岩類

大分県下の火山岩類は臼杵一八代線以北のほとんど全部と県南の西半部の祖母山・傾山を中心として分布する祖母火山岩類など、その分布面積は全県下の70%におよぶ。火山岩類のほとんどは新期の火山活動によって生成されたものである。古いものから列挙すると、中部中新世の変朽安山岩からなる宇佐層群、上部中新世の祖母火山岩類と瀬戸内系火山岩類、上部鮮新世から下部更新世にわたる耶馬溪層・豊肥火山岩類(筑紫熔岩)、下部更新世の万年山熔岩・耶馬溪熔結凝灰岩、中部更新世から上部更新世にわたる山陰系安山岩・由布川軽石流・阿蘇熔結凝灰岩・久住火砕流堆積物などがある。

以上の火山岩類の大部分は安山岩からなるが、瀬戸内系とされているものの中で、鎧ヶ岳熔岩は流紋岩からなる。また、万年山熔岩も流紋岩であり、祖母火山岩類中にもリソタイトのホルンフェルス化をうけたものなどが含まれている。

耶馬溪層は鮮新統と考えられる成層集塊岩で角閃石安山岩質の火山噴出物であり、厚さ400m以上で、国東半島から宇佐・耶馬溪地方に広く分布している。地質図では集塊岩として記載した。軽石を多く含む由布川軽石流は軽石耶馬溪熔結凝灰岩・阿蘇熔結凝灰岩は熔結凝灰岩久住火山周辺の久住火砕流堆積物は火山砕屑物とした。

### 2-1-7 第四紀層

第四紀層は火山性扇状地、山麓堆積物、段丘堆積物、海浜、河口・盆地・湖底堆積物などがある。大部分



が未固結の砂泥・岩屑・泥・砂・礫などからなる。

更新世堆積物は、大分市の南部に小丘をなす大分層群、国東半島南部海岸にある大分層群相当層、宇佐郡南部の駅館川層、大分市周辺と中津・宇佐の平野部から山麓にかけて分布する小丘をなす段丘礫層、大分市坂ノ市の丹生泥層などである。

沖積世堆積物は、国東半島および中津・宇佐の海浜にある砂丘、主として山陰系新期火山の山麓・崖錐・扇状地などの堆積物のほか、海岸の埋立地、沖積層などがある。

以上が大分県の主な地質構成であるが、本県の地質的特性をあげると次のようになる。

- (1) 白杵一八代線以北は第三紀以降の火山岩がその大部分を占め、基盤は西南日本内帯の花崗岩が最も多く、三波川結晶片岩系・野津原古生層・一部に領家帯の片麻岩などがあると思われる。
- (2) 白杵一八代線以南は西南日本外帯の秩父古生層・時代未詳の中生層である四万十累帯などが東北東から西南西方向に帯状分布をなしており、引続いて大野川流域に大野川層群の堆積がおこなわれた。
- (3) 第三紀から第四紀初期にかけて祖母火山岩類・西南日本外帯の花崗岩の進入、瀬戸内系火山岩などの活動があり、宇佐・日田、大分などには宇佐層、豊州累層群の一部などの堆積・生成がおこなわれた。
- (4) 第四紀以降、豊肥火山岩類（筑紫熔岩）万年山・耶馬溪の両溶結凝灰岩の活動が県の中・北部で盛んとなり、引き続き阿蘇溶結凝灰岩・山陰系火山などが噴出してほとんど現在のような地形が構成された。
- (5) 沖積統は火山山麓・海浜の一部で、火山性の堆積物がそのほとんどを占める。

（森山善蔵 大分大学）

## 2-2 垂直的分類について

### 2-2-1 未固結堆積物

沖積層が厚く発達しているのは大分平野と豊前平野である。前者は下部はシルト～砂、上部は砂で全体的には砂を主体としている。最も厚いところで80mに達し基盤は凝灰岩、凝灰質泥岩である。後者は砂の多い砂礫を主体としているが海岸部では砂～シルトが多くなる。基盤は凝灰角礫岩である。他の地域の沖積層は分布がせまく、ほとんど砂礫を主体としている。崩落性砕屑物（崖錐構成物）は久住火山地の山麓に厚く発達し、安山岩質の礫と火山灰からなるが、上部にロームを含むことが多い。大分、豊前両平野の背後にある台地を構成する堆積物は下底に礫を有しその上に砂またはロームをのせているが、全体の厚さは10mより薄い。基盤は凝灰岩、凝灰角礫岩、凝灰質泥岩である。

### 2-2-2 固結岩石

大分市周辺、玖珠盆地などの新第三紀～第四紀の堆積岩は1a～2bであまり固結度は高くない。しかし北半に広く分布する火山岩、凝灰角礫岩および南半の中生代、古生代の諸堆積岩は硬岩である。これら古い岩石の上に分布する阿蘇溶結凝灰岩は竹田付近で基盤が見えず厚いが東方にいくにつれて薄くなり、白杵川に沿う地域では数十m～数mである。硬さは局所的に1bのところもあるが全体的には2bである。

火山性岩石は風化殻は3m以浅であるが山香、別府背後山地のように熱水変質しているところでは局所的に3m以深のところもある。佐賀関山地北半の結晶片岩と蛇紋岩は3m～10mの風化殻を示しているが、国東半島の片麻岩類は5m前後である。

東部九州山地の南半、佐賀関山地南半の中生代の諸岩石は3m~10mであり、東部九州山地北半、朝地などの古生代の諸岩石は3m以浅である。10m以深の深層風化をしているのは杵築市東部の花崗岩と日田郡最南部の花崗岩のみである。他地域の花崗岩は3m以浅である。

(日 高 稔 別府鶴見ヶ丘高等学校)

### 3 土壤統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

大分県における山地、丘陵地、台地、低地の土壤は、大土壤統群で8、土壤統群では24に分類され、その内訳は次表のとおりである。

土壤統群一覧表

大 土 壤 群	土 壤 統 群
岩 石 地	岩 石 地
未 熟 土	残 積 性 未 熟 土 壤 砂 丘 未 熟 土 壤
黒 ボ ク 土	厚 層 黒 ボ ク 土 壤 黒 ボ ク 土 壤 粗 粒 黒 ボ ク 土 壤 多 湿 黒 ボ ク 土 壤 淡 色 黒 ボ ク 土 壤
褐 色 森 林 土	乾 性 褐 色 森 林 土 壤 乾 性 褐 色 森 林 土 壤 (黄 褐 系) 乾 性 褐 色 森 林 土 壤 (赤 褐 系) 褐 色 森 林 土 壤 褐 色 森 林 土 壤 (黄 褐 系) 褐 色 森 林 土 壤 (赤 褐 色) 湿 性 褐 色 森 林 土 壤
赤 黄 色 土	赤 色 土 黄 色 土
褐 色 低 地 土	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤
灰 色 低 地 土	細 粒 灰 色 低 地 土 壤 灰 色 低 地 土 壤 粗 粒 灰 色 低 地 土 壤
グ ラ イ 土	細 粒 グ ラ イ 土 壤 グ ラ イ 土 壤 粗 粒 グ ラ イ 土 壤

また、土壤統群の分布およびそれと地形、地質、土地利用との関連を説明すれば次記のとおりである。

### 3-1 岩石地

県北一帯に広がる耶馬溪溶岩地および県内の最高峰に属する久住山、由布山北側に小面積出現している。前者は水蝕によるメーサやピコートとなり、景勝地になっている。50°以上の岩壁には土壌層は皆無で、わずかに蘇苔や地衣類が附着している。樹木はほとんど見られず、岩の割目にアカマツやカシ類がかるうじて生育しているに過ぎない。後者は岩屑をともなった岩石地で阿蘇溶岩を母材とする。植物は、岩の隙間にスキなどが散生している。

### 3-2 未熟土

残積性未熟土壌の分布が大部分で砂丘未熟土壌は中生界・古生界の頁岩、砂岩および変成岩を母材とし、乾燥する東南海岸部に尾根筋より山腹下部にかけて出現している。現地は30°~40°の急斜地で、山脚は海に接し、小~中角礫に富み、土壌等の移動が多い所である。A層の発達は弱く、構造の発達も少い。全体に雑木(カシ、シイ類)におゝわれ一部クロマツ、アカマツが生えているが、それらは矮形で生育も不良である。今後も人工植栽は無理であろう。土壌の流亡を防止するための取扱いに注意が必要である。砂丘未熟土壌は透水性が良く、水分保持能力に劣るため、生産力は低い、防風、防潮林地としての保安効果は大きい。

### 3-3 黒ボク土

久住山を中心にほぼ半円形に火山灰が被覆し、部分的には遠く沿岸部までおよび、その面積は県全域の1/8に達する。一般に噴出源とみられる九重、由布など火山地に近い比較的平坦な部分に厚層黒ボク土壌が分布し、これについて広域の黒ボク土壌があり、山地、台地、丘陵地の傾斜面に淡色黒ボク土壌が多い。又阿蘇外輪山の東部臼杵、杵築などの丘陵地には褐色火山灰が分布し、豊前平地、国東などには再積性の淡色黒ボク土壌が点在している。この地域は比較的平坦なため、大野、速見を中心に古くから畑作地帯を形成し、本県畑土壌の半ばを占めている。しかし、これまでの農業が稲作中心であるため、飯田高原、久住高原、日出生台などで代表される火山裾野~台地性平坦地が未開発のまま放置されている。ところが社会経済的条件の変化により、この広大な地域の開発が、畜産を中心として着手された。黒ボク土壌の未耕地は、りん酸吸収係数が大きく、有効りん酸量が少なく、石灰・苦土などの塩基が欠乏している。この地域の原野を草地又は畑地として利用する場合の改良資材の必要を概算すると、ha当り、りん酸成分200~300Kg、石灰質肥料6~8tになる。又黒ボク土壌は土層中に、コラ層(火山噴出物固結層、厚さ10~20cm)、アカホヤ層(ガラス質火山噴出物厚さ10~20cm)、が出現する地域がある。コラ層は飯田、塚原、城島、今市などその分布が限られるが、アカホヤ層はほぼ火山灰地全域に分布している。これらの層は根群の伸長を阻みとくにコラ層は透水性も小さく過湿過干の原因にもなるので、地表近く出現する場合は深耕などの土層改良が必要である。多湿黒ボク土壌は黒ボクを材料とする水田が主で、沖積地、台地上の開田地などに分布する。

### 3-4 褐色森林土

森林土では、もっとも一般的な土壌で、大分県では黒色土とともに分布範囲が広い。降水量の少ない地域(海岸沿)では黄褐系または赤褐系の土壌が分布し、降水量の多く、起伏量の大きい山間地地域では、いわゆる褐色森林土壌が分布する。

一般的には、水分が流亡し、また風衝などによる蒸散の激しい山頂、尾根筋付近、山復緩斜面の凸部に、乾性褐色森林土壌(黄褐系、赤褐系も含めて、林野土壌調査におけるBA、BB、BC型土壌を乾性土壌とする。以下同じ)が出現する。降水量が少なかったり、流亡の激しい所では尾根筋から山腹下部まで出現し、この土壌の分布割合が多くなっている。また、適潤性の褐色森林土、(BD-(a)、BD型土壌)は、主として山腹に現われ、水分条件の悪い地域では谷筋にのみこの型の土壌が分布している。湿性土壌(BE、BF型土壌)は水分環境に恵まれた地域の谷沿に出現している。

乾性褐色森林土は主として大野川上流、大野丘陵部に分布している。ここはいわゆる里山山地帯でクマギ等の落葉雑木林となり、過去薪炭材として利用していたため土壌は瘦悪化している。山頂及び谷沿は農地として利用されている所が多く、また、起伏量が小さいため、水分保持能力が小さく、乾性土壌が出現している。一部津江山地にもこの土壌が出現しており、ここでは雑木を主にし、人工針葉樹林も見られる。一般には生産力は低いが、赤黄褐色系の乾性褐色森林土に比べ、樹林の生育は良好である。乾性褐色森林土のうち、赤黄褐色系のもは主として海岸部に分布し、赤褐色系は、宇佐平野に付随した丘陵地と佐賀の関半島一帯に限られている。これら赤黄褐色系のうち、県北に分布するものは安山岩系統を母材とし、土壌は堅密となり理化学性が劣る。県南部に出現するものは、頁岩、砂岩を母材としているため小中角礫の含量が多くなっている。生産力は小さいが、特に県南海岸部が劣っている。

褐色森林土の分布は降水量の多い津江山地、英彦山津民山地と、海部山地西部に大部分出現し、理化学性に富んでいるためスギ林が多く、特に津江山地は美林となっている。この地域では、主として山腹に出現するが、大野川流域では谷筋に出現している。林地として生産力は高い。

褐色森林土の赤黄褐色系は前記乾性土壌の谷筋に付随し、また、褐色森林土の上部（山頂部）に分布する。スギ、ヒノキの人工林と雑木林があるが、生産力は前記に比べかなり落ちる。

湿性褐色森林土は、褐色森林土とほぼ分布を等しくし、その下部谷筋に分布している。降水量に恵まれた所では、谷の支脈にまで分布する。水分環境に最も恵まれているため、A層の発達が良く、また理化学性も優れているため、林地としては最高の生産力を持っており、大部分スギの人工林地となっている。

### 3-5 赤黄色土

畑地、樹園地には褐色森林土の性格を示すものも少なくないが、土色が5.0 Y R以下の色相を示す土壌が主として分布する地域を赤色土。7.5 Y R以上の色相を示す土壌が主として分布する地域を黄色土として図示した。県北部には安山岩を母材とする黄色土が広く分布し、畑地果樹園として利用されているが、近時果樹園の比率が急激に増加した。この土壌は黒ボク土壌とともに本県の代表的畑地、樹園地土壌であるが、黒ボク土壌がその化学性に難点があるのに対し、安山岩土壌は物理性が不良である。安山岩土壌の下層土は通気、透水性が著しく不良で、気相割合が10～15%程度に過ぎない。又萎調点の水分含量が高く有効水が少ない。そのため作物は根群の分布が浅く、干害をうけやすい。人力開園に比べブル開園では干害抵抗性が高められるが、作物の生産安定のため大規模な用水計画がたてられている。（駅館川総合開発、国東用水など）、県南地方には佐賀関、臼杵に赤色土、津久見、南海部に黄色土が分布し、主に柑きつ園として利用されている。いずれも20～60 cmに礫層又は基岩の出現する礫質又は礫層土壌で、保水力が小さく、液相が15%以下の場合が多く、干害の危険が非常に多い。又通気、通水性が過良のため地力の損耗が甚だしく、土壌養分に欠乏している。置換容量も10 ml前後で保肥力が小さく、肥効が持続しないととも、多肥による濃度障害も受けやすい。この他黄色土として三紀層の頁岩、砂岩、凝灰岩などを材料とする土壌が大部分、速見に花崗岩土壌が安岐、武蔵に分布している。

### 3-6 褐色低地土

河川の流域に排水のよい砂質沖積の粗粒褐色低地土が分布するが図示できる面積は少ない。畑地、桑園などに利用され、生産力は高い。県南地方の谷間には礫質埋没土の粗粒褐色低地土が分布する。中生層、古生層の砂岩、頁岩、粘板岩、珪岩などを材料とし保水、保肥力は小さいが、低地で干害、溶脱が少ないため生産力はやゝ高い。

### 3-7 灰色低地土

水田土壌で河川の流域を中心に分布する。細粒灰色低地土は台地あるいは比較的高位の段丘地に分布し、すき床に班鉄を含むものと、構造の発達した下層土をもつなどの特徴がみられる。作土下の色調は灰褐色が

一般的であるが、大分川上流、山国川中流などの山麓地には褐～黄褐色、湯布院盆地などには灰色を呈するものも分布している。水田中最も分布割合が高く、本県水田の3割に達する。肥料の流亡、根ぐされなどの障害が少なく、水稻多収穫地帯をなしている。灰色低地土（中粒質）は広い河岸平地に主として分布し、細粒灰色低地土に比べて溶脱が進みちっそ地力がやゝ高く、過繁茂型の稲作となりやすいが収量はほぼ同等である。なお中粒質のため畑地利用は容易である。粗粒灰色低地土の砂土型は氾らん地、自然堤防、河口周辺などに分布し、礫層型は河川上流の谷床沖積地、県南地方の砂岩、頁岩、粘板岩を材料とする沖積地などに分布している。いずれも保肥力小で、鉄、けい酸などの溶脱著しく、水稻は秋落型で生産力も低い。

### 3-8 グライ土壌

落水後も排水不良のため二価鉄の存在で青～青灰色を呈するグライ層が80cm以内に出現する土壌をグライ土壌という。細粒グライ土壌は、山地、丘陵地、台地の谷間に分布する。水稻は根ぐされ障害をうけやすく、生産力はやゝ低い。中粒グライ土壌は谷間および沖積低地に分布し、水稻の成育、収量は細粒グライ土壌とほぼ同様である。粗粒グライ土壌は、豊前、国東、佐伯などの海岸地域に広く分布しグライ層が作土直下～30cm以内に出現する。地下水位の高い過湿田が多い。水稻は過還元による根ぐされ障害が甚だしく、部分的には塩害、硫化物害がみられ生産力は最も低い。

（金田 文男 大分県農林試験場、津野林士 大分県農業技術センター）

## 4 土地利用現況等の概要

### 4-1 土地利用現況の概要

大分県は、久住山、万年山、由布山、鶴見山など1000m以上の山が連なる火山脈が中央部を東西に走り、北部および南部は1000m級の山が隣県と境する山地のため、全般的に起伏が多く、15°以上の傾斜地が全域の50%をこえている。そのため交通網の整備も困難で地域開発は北九州に比べおけている。したがって土地利用は林地割合が高く全体の70%をこえている。林地は沿岸部と山中部に大別されるが、山中部は年間降水量1800～2200mmの杉の適地で、崩積性土壌では生育がとくに良好である。沿岸部は雨量も少なく、北部はち密な重粘土、南部は礫質土や未熟土が多く、植生は不良である。

又中部火山地域を中心に広大な未立木地、草地在り分布し、放牧、採草地として利用されているが、未利用地も少なくない。

農地は海岸平野、河岸低地、台地などを中心に分布し、豊前平野、大分平野、日田盆地、大野川上中流地域などに大集団地がみられる。しかし多くは、水田帯状、畑は小ブロック状の分散型で、河岸や谷間の樹枝状水田や、開析されて点々と平坦面を残す台地上の畑地が県下全域にこまかく分布している。

水田は中部、北部は安山岩風化物を母材とする土壌が多く、溶脱少なく保肥力大で、一部の日照不足田や礫層土壌を除いて生産力が高い。又国東地域は用水不足田や地力の低い水田が多く、南部地域は中生層、古生層の礫層土壌が多いため水稻の収量は低い。

畑地は北部は粘質土で物理性、中部は火山灰土で化学性、南部は礫質土で物理性、化学性に問題が多い。

樹園地はミカンが最も広く、県南地方の古い産地から近時、湾岸地域、国東地域、北部地域まで拡がり、東海岸沿いにオレンジベルトがほぼ形成され、南部は年内出荷、北部は貯蔵型のミカンを産出する。又クリは日田地域などを中心に山中部に分布してミカンについて広く、ブドウは北部地域、ナシは日田地域などに分布が広い。又桑園は大野川上中流地域、北部平坦地域などに主に分布している。

市街地は大分市、別府市、中津市などが主で、その他は地形を反映して小都市分散型である。大分市、別府市は大分地区新産業都市建設計画により工業用地、住宅地が急速に拡大しつつあり、中津市、宇佐市でも最近工場の進出が目立っている。

#### 4-1-1

周防灘に面するいわゆる豊前平野で、山国川、駅館川、寄藤川、桂川などの下流域に発達した沖積土および洪積土などからなり、自然条件は県内で最も均質でまとまっている。古くから水稻中心の農業が行なわれ、本県第一の水田地帯をなし、水稻の単位面積当りの収量は各地域中最高である。地形的に大型機械化農業の適性を最も備えた地域で、大規模圃場整備事業が実施中である。

台地および丘陵地ではブドウ、ナシが栽培され、ミカンの新植は国東地域について多い。又北九州市場に近接するため、豊前平野では白菜、大根、西瓜、トマト、西国東干拓では瓜類、ネギ、落花生などの栽培が盛んである。

なおこの地域は戦前は繊維工業を中心に発展したが、近時鉄工業、食品加工業、電機、住宅関連機器などの企業の進出が目立ち、それに関連して商業地、住宅地が増大し、二次産業、三次産業の場が拡大しつつある。なお周防灘開発構想によると、この地域の海岸部の埋立てによって膨大な工業用地が造成されることになっている。

#### 4-1-2 北部山間地域

福岡県境より東方に山地、丘陵地と連なる起伏にとむ地域で、耕地率は低いが一戸当り水田面積はやゝ広い。地域内は山国川上流の山地、駅館川、八坂川上流の丘陵地に大別され、前者では水稻+林業、後者では水稻+養蚕又はブドウ、クリなどの営農型態がとられている。

山国川上流の山地地域は雨量が多く、土壌層の厚い崩積性土壌が多いため、林木の生育は良好で、日田を中心とする林業地域の一環をなしている。水田は山国川の河岸および上流の谷間に帯状に分布するが、日照不足田、礫層土壌などが多く生産力はやゝ低い。又台地性の平坦地形が少ないため畑地の分布は非常に少ない。なお一部でクリ園の造成が行なわれている。

駅館川上中流および八坂川上流地域は丘陵性地形で、山国川上流地域に比べ起伏量が少なく、平坦～緩傾斜面は畑地、樹園地として利用され、谷底面も広く安心院盆地、八坂川上流などには水田がやゝ広く分布している。林地、樹園地、畑地は安山岩粘質土又は下層が固結した三紀層土壌が多いため、植物根の伸長が不良で、干害などの障害も発生しやすい。この不良土壌をブル深耕で改善し、大規模なブドウ園、クリ園が造成されている。水田は土層の深い粘質土壌が多く、生産力はやゝ高い。

#### 4-1-3 国東地域

瀬戸内海の西部に面するほゞ円形の半島で、両子山を中心に、放射状に開析された山地、丘陵地、平地よりなっている。内海気候型に属し年間降水量は1500mm前後で各地域中降水量は最も少なく、全般に安山岩を母材とする粘質土壌で表土が浅いため、干害をうけやすく植生は不良である。しかし海岸に面し気候が温暖なため一部でミカンが栽培されていたが、昭和30年頃より樹園地造成にブルドーザーが使われるようになり、その面積は急速に増大し、この地域は本県第一のミカン地域になった。

水田は、谷間、段丘地、河岸低地に海岸低地分布するが、地域内に大水系がないため溜池かんがいが多く、常習干ばつ田が少なくない。なお日照不足田や礫層土壌の分布も多く、けい酸などの養分含量も低いので、県南地域につぐ水稻の低収地となっている。又この地域の水田では特産七島い(たたみ表原料)が約700ha栽

培されているが、労力を多く要するため減少の傾向がみられる。

畑地は丘陵地上に分布し西瓜、落花生、タバコなどが栽培されている。南部の火山灰地域では収量は安定しているが、畑の大部分を占める安山岩粘質土壌では常習的な干害をうけている。又前述のように沿岸部にはミカン園が分布するが、中央部では最近クリ園が造成されている。

林地は瘠薄な安山岩粘質土壌で雨量も少なく植生は不良である。

なお、この地域は新植のミカンを柱に農業中心の開発を進めており、地域内の用水を確保するため、筑後川上流より取水する大規模な国東用水計画が実施されることになっている。

#### 4-1-4 湾岸地域

別府湾をかこむ本県で最も開発の進んだ地域である。したがって市街地の割合が各地域中最も高く、本県の代表都市、大分市、別府市が包含される。大分市は県の政治、経済、文化の中心地として発達してきたが、昭和39年大分地区産業都市の指定を受け、大野川左岸約1000haの埋立を終り、ここに石油精製—石油化学—電力—鉄鋼のコンビナートが形成されつつある。そしてその関連産業用地として背後地の工業化も急速に進み、人口の流入に対応して大規模な住宅用地が続々と誕生中で、その影響は別府市、日出町にもおよんでいる。別府市は温泉都市として著名であるが、九州横断道路の開通、隣接の大分市の膨張により、観光地、保養地としての地位を高め、住宅を始め各種のレクリエーション、レジャー施設が増加しつつある。

したがって、かつて本県の代表的米作地帯であった大分平野は、工業、住宅などの用地化し、水田は大分川中流地域が中心となったが、一部の黒ボク土壌を除いて安山岩風化物を材料とする壤土—埴埴土で生産力は高い。市街地内では土地依存度の低い施設園芸、周辺部の丘陵地、台地では野菜栽培が盛んである。

又大分周辺および日出の丘陵地にはミカン園が広く造成されている。

林地割合は各地域中最も低く、広葉樹が主である。

#### 4-1-5 南部地域

白杵、八代構造線以南に佐賀関半島を加えた地域で、中生界以前に属し本県では地質的に最も古い地域である。地形は祖母、傾山系から分岐した多くの支峰が東に走り、海岸に達してリアス式海岸を形成し、その先に数多くの離島が点在している。そのため山地が多く林地割合は各地域中最も高い。山中部は雨量が多く林木の生育も良好で経営的林業が行われているが、沿岸部は未熟土壌が多く、夏季の干害もあって植生は不良である。

水田は白杵川、番匠川、堅田川の下流の低地およびその流域の河岸平地、谷間平地に分布するが、中生層、古生層を母材とする礫層土壌が多く、珪酸などの土壌養分含量も低いため、水稻の収量は各地域中最も低い。

畑地は白杵川兩岸の台地、番匠川下流の三角洲などが代表的で、前者は関西におけるシヨウガの産地として有名であり、後者は佐伯市、津久見市の近郊地として野菜栽培が行なわれている。

又沿岸部の傾斜地、谷間離島にはミカン園が広く分布し、礫層土壌のため収量は高くないが品質は良好である。

市街地は、造船、醸造の白杵市、セメントの津久見市、パルプ、セメントの佐伯市などがある。

なお地域内には推計45億トンの石灰岩が埋蔵され窯業、製鉄副原料として採掘されている。又祖母、傾山系には豊富な地下資源があるが、操業中のものは少ない。

#### 4-1-6 大野川上中流地域

阿蘇外輪山東側より東方に連なり、湾岸地域、南部地域に接する火山裾野およびそれに続く波状台地地域で、本県第一の台地性平坦地域である。したがって土地利用は、畑地、草地、未立木地が広く林地が少ない。

林地は腐植層の薄い火山灰土壌が多く、広葉樹の植林がみられるが植生は中である。

水田は河岸平地、台地を中心に分布するが、河岸平地は安山岩風化物を材料とする壤土～埴壤土が多く、台地は安山岩残積土、黒ボク土壌が多い。一般に安山岩質土壌地域は収量が高く品質も良好で、緒方、朝地などは本県でも代表的な「米所」となっている。又黒ボク土壌は萩、竹田、野津などの台地に分布するが、りん酸欠乏、根ぐされ障害などのため収量はやゝ低い。

畑地は台地上に広く分布し本県第一の畑作地帯をなしている。上流地域ではトウモロコシ、ナタネ、中流地域では甘藷、陸稻、タバコが主であったが、飼料作物、高冷地野菜、サトイモ、早掘甘藷などが新しく適作物として取上げられている。

桑園面積は各地域中最も広く、クリは中流地域に分布している。

又畑地面積が広いため、草地、未立木地が多く、これらの土地利用度は低く放置されている。

なお最近この地域の大規模畑地機械農業への適性に注目し、畑かん、圃場整備、道路網の整備などを内容とした大野川上中流地区開発計画が立てられている。

#### 4-1-7 久住飯田地域

本件中部の久住山、万年山、由布山、鶴見山などを中心とする火山地域で、大分川、玖珠川により開析され、地形は大起伏にとんでいる。久住高原、飯田高原、五馬高原、玖珠高原、日出生台など雄大を高原を含む地域で、各地域中草地割合が最も高い。

草地は黒ボク土壌が大部分を占め、草種はササ型又はササーワラビ型が主で、不良土壌と永年の掠奪利用の結果植生は著しく不良である。

林地は山地および台地の傾斜面に分布するが雨量が多く、崩積性土壌では生育が良好である。

水田は玖珠川、大分川の河岸平地、谷間平地および台地に分布するが、玖珠盆地、由布院盆地、千町無田などには集団的に分布している。玖珠盆地は肥沃な埴土～埴壤土で本県における主要米作地をなしているが、千町無田は標高800mの黒ボク水田、由布院盆地は火山砂礫の扇状堆積水田で、冷害、根ぐされ、養分欠乏などのため水稻の生育は阻害されやすい。又河岸平地、谷間平地の水田は日照不足田や礫層土壌が多く収量は高くない。

畑地は飯田高原、塚原、久住高原などに分布し戦後の開拓地が多い。いづれも塩基、りん酸欠乏の黒ボク土壌が主であるが、土壌改良の結果、カンラン、トマトなど高冷地野菜の九州における主産地となっている。

又高原中心に飼料作物、牧草も栽培され、桑、クリ、ナシなどの樹園地も域内に分布している。

しかし、広大な高原および台地は気象、土壌条件などにより大部分が利用度の低い原野のまま放任されている。この地域が全国的視野よりみても将来の畜産基地として注目され、畜産を主体とした久住飯田開発計画が昭和45年度より着工されている。なおこの地域には日出生台地自衛隊演習場があり、九州横断道沿には多くの観光施設がみられる。

#### 4-1-8 日田地域

日田盆地およびその周辺の山地よりなっている。盆地を除くと地形が急で林地割合が高く、南部地域とともに本県における林業地域をなし、日田スギの産地として全国に知られている。降水量は各地域中最も多く、山地の崩積性土壌では林木の生育がとくに良好である。

水田は日田盆地が中心で安山岩風化物を材料とする壤土～埴壤土で地力が高く、本県における「米所」の一つとなっている。又盆地周辺の台地では野菜栽培が盛んで北九州市場まで出荷されている。

樹園地はクリ、ナシ、ウメ、桑などで、盆地周辺の山地、丘陵地に分布している。日田市はこの地域の中心的都市で木材加工業が盛んである。

(津野 林士、大分県農業技術センター)



## 4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要

### 4-2-1 北部平坦地域

全域標高400m以下の低暖地帯で、傾斜もS1の0~3°地域の大部分を占めている。土壌もP1の細粒灰色低地土壌の分布が広く、したがって1類地の分布割合の最も高い地域となっている。

海岸部および北部山間地域と接する地域に2~4類地が分布する。すなわち海岸部には粗粒グライ土壌に由来する4類地が帯状に分布し谷間には細粒グライ土壌が制限因子となって2類地が分布し畑地、樹園地として利用されている台地の一部はP3の黄色土で3類地に区分される。なお北部山間地域に接する丘陵地はP3の黄色土、褐色森林土壌(赤褐系)が3類地をなし、P4の乾性褐色森林土壌(赤褐系)が4類地となっている。

### 4-2-2 北部山間地域

耶馬溪山地および中央火山地に連なる地域は標高400m以上で山間地帯に属するが、標高400m以下の低暖地帯の占める割合が半ばをこえている。しかし地形が複雑で傾斜15°~30°のS4が多いため大部分が4類地として区分されている。土壌は下毛地域は2等級の褐色森林土壌(黄褐系)、宇佐、速見地域はP3の乾性褐色森林土壌の分布が多い。又山国川、駅館川、八坂川の流域にはP1の灰色低地土壌、P2のグライ土壌P3の粗粒灰色低地土壌が樹枝状に分布している。又畑地、樹園地はP3の黄色土が主である。

したがって、傾斜がやゝゆるやかな安心院盆地周辺、山香地区には3類地が分布し、部分的に2類地、1類地もみられる。

### 4-2-3 国東山地

両子山を中心に岩石地の7類地、傾斜30~40°の5類地が局部的に分布する。又傾斜15~30°の地域が両子山から南東に半島の中央部に帯状にやゝ広く分布し、土壌はP1の褐色森林土壌、P3の乾性褐色森林土壌(黄褐系)であるが4類地に区分されている。

海岸部には傾斜0~3°のS1、河岸および谷間にはP1の灰色低地土壌、細粒灰色低地土壌が分布するが、互に重合しないため、1類地の分布は稀である。

傾斜3~8°土壌生産力可能性等P1~P2で2類地に区分されるのは細粒灰色低地土壌、灰色低地土壌、細粒グライ土壌、グライ土壌、多湿黒ボク土壌、黒ボク土壌などで地域内に広く点在するが面積は少ない。3類地は傾斜8~15°土壌生産力可能性P3の乾性褐色森林土壌(黄褐系)、黄色土、粗粒灰色低地土壌などで、類地区分中最も広範囲を占め、この地域の代表的類地となっている。

### 4-2-4 湾岸地域

大分市、別府市の市街地が含まれ8類地の分布が各地域中最も広い。標高400m以下の低暖地が主で傾斜もS1の0~3°が大半を占め、残りの大部分が3~8°のS2となっている。したがって土壌生産力可能性P1の細粒灰色低地土壌、灰色低地土壌の分布する大分川、大野川流域にはやゝ広範囲の1類地がみられる。

又2類地には傾斜が制限因子となった大分川上流地区のP1土壌、傾斜はS1に属するが土壌生産力可能性P2の多湿黒ボク土壌、厚層黒ボク土壌などが区分されている。なお3類地にはP3の大分市周辺の黄色土、別府市周辺の乾性褐色森林土壌(黄褐系)などが含まれる。

### 4-2-5

祖母、傾山山系には標高1200m以上の高冷地、又は標高400m以上で傾斜が30~40°の5類地が

分布し、局部的には傾斜 $40^{\circ}$ 以上の7類地もみられる。なお標高 $400\text{ m}$ 以上の山間地帯は祖母、傾山山系から北東に沿岸部に向って分布し、全域の約3割に達している。したがって地域全域が起伏にとみ、佐伯、臼杵の平地および宇目の一部を除いて大部分が傾斜が制限因子となって4類地に区分される。なお土壌はP1の褐色森林土壌が山中部を中心に広範囲を占め、P3の乾性褐色森林土壌黄褐色、褐色森林土壌(赤褐色)が海岸部に分布し、臼杵湾沿岸にはP4の乾性褐色森林土壌(赤褐色)が存在し、半島、岬、離島はP4の残積性未熟土壌が主になっている。

3類地は傾斜 $8\sim 15^{\circ}$ の褐色森林土壌、褐色森林土壌(赤褐色)、乾性褐色森林土壌(黄褐色)、2類地は傾斜 $3\sim 8^{\circ}$ の灰色低地土壌、粗粒褐色低地土壌、1類地は傾斜 $0\sim 3^{\circ}$ の灰色低地土壌、粗粒褐色低地土壌で佐伯、臼杵、宇目などの平坦地を中心に分布するが、3類地を除いた分布面積は狭少である。

#### 4-2-6 大野川上中流地域

西部には熊本県沿いに標高 $400\text{ m}$ 以上の山間地帯が分布するが、大部分は $400\text{ m}$ 以下の低暖地帯に属している。

地形は比較的平坦で傾斜 $15^{\circ}$ 以下が主体をなしているが、北部には $15^{\circ}\sim 30^{\circ}$ の傾斜地が分布して久住飯田地域と境を接している。この $15\sim 30^{\circ}$ の傾斜地域はP1の褐色森林土壌、P3の乾性褐色森林土壌(黄褐色)、乾性褐色森林土壌よりなっているが、傾斜が制限因子になって、土地利用可能性はこの地域で最小の4類地に区分されている。

3類地には傾斜 $8\sim 15^{\circ}$ 、土壌生産力可能性P3の乾性褐色森林土壌、淡色黒ボク土壌、ならびに標高 $400\text{ m}$ 以上の山間地帯に分布するP2の多湿黒ボク土壌などが含まれる。

2類地には傾斜 $3\sim 8^{\circ}$ 、P2の厚層黒ボク土壌、黒ボク土壌、細粒グライ土壌、グライ土壌などが区分される。1類地は傾斜 $0\sim 3^{\circ}$ 、P1の細粒灰色土壌、灰色土壌で緒方盆地など河岸平地に点在している。

以上この地域は4類地も含まれるが、全般的には2-3類地が主体をなし北部平坦地域、湾岸地域について、土地利用可能性等級の高い地域である。

#### 4-2-7 久住飯田地域

本県の中央部に位する広大な火山地帯で、久住山を中心に標高 $1200\text{ m}$ 以上の高冷地が分布し、標高 $400\text{ m}$ 以上の山間地帯が地域の大半を占めている。又地形が複雑で傾斜はS4の $15^{\circ}\sim 30^{\circ}$ を中心にS6の $40^{\circ}$ 以上の地域も分布するが、久住高原、飯田高原、日出台、五馬高原、玖珠盆地など比較的平坦なS1-S2地域の分布も少なくない。

土壌はP2の黒ボク土壌、厚層黒ボク土壌、P3の粗粒黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌が主である。

類地区分はまず、久住山頂、花牟礼山頂などに7類地の岩石地が局所的に分布する。

つぎに久住山、花牟礼などの山腹が傾斜 $30\sim 40^{\circ}$ 、淡色黒ボク土壌で5類地に区分され、この5、7類地の占める面積は各地域中最大である。

4類地は傾斜 $15\sim 30^{\circ}$ 、主として標高 $400\text{ m}$ 以上の粗粒黒ボク土壌地域で山地、台地の開析面に広範囲に分布する。3類地は標高 $400\text{ m}$ 以上の厚層黒ボク土壌、黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌地域で高原～台地状をなし傾斜はやゝ緩やかである。(  $0\sim 15^{\circ}$  ) 2類地には傾斜 $3\sim 8^{\circ}$  標高 $400\text{ m}$ 以下の黒ボク土壌灰色低地土壌などが区分され、1類地には傾斜 $0\sim 3^{\circ}$ の灰色低地土壌が含まれるが、1～2類地の分布面積は狭少である。そしてこの地域の土地利用可能性等級は3～4類地が主体をなしている。

#### 4-2-8 日田地域

日田盆地と津江山地に大別されるが、津江山地は標高400m以上の山間地帯が大部分を占めている。

土壌はP<sub>1</sub>の褐色森林土壌が広範囲に分布し、ついでP<sub>1</sub>の湿性褐色森林土壌が広く、部分的にはP<sub>2</sub>の褐色森林土壌(黄褐色系)、又日田盆地周辺にはP<sub>3</sub>の乾性褐色森林土壌(黄褐色系)も分布している。

なおP<sub>2</sub>の黒ボク土壌、P<sub>3</sub>の淡色黒ボク土壌、黄色土などが集团的に点在する。類地区分は日田盆地およびその周辺を除いて大部分が傾斜15-30°で4類地に区分される。

日田盆地の中心部には市街地の8類地が分布し、盆地には傾斜0-3°土壌生産力可能性P<sub>1</sub>の灰色低地土壌、細粒灰色低地土壌もやゝ広く分布している。又2類地には傾斜3-8°、P<sub>2</sub>の褐色森林土壌(黄褐色系)が含まれ、3類地には傾斜8-15°、P<sub>2</sub>の褐色森林土壌(黄褐色系)およびP<sub>3</sub>の乾性褐色森林土壌(黄褐色系)、黄色土などが区分される。そして山地部の4類地と盆地部の1-3類地に判然と区分されるのがこの地域の特徴である。

(津野 林士)



# B 統 計 の 部





1 土地利用現況

1 の 1 土地利用現況別面積市町村別内訳（面測による）

区 分 市町村	農 地											草				
	田				畑							利用草地				
	普通田		特 殊 田	計	普通畑			牧 草 畑	樹 園 地			農 地 計	永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計	
	一 年 一 作	一 年 二 作			一 年 一 作	二 年 三 作	一 年 二 作		計	果 樹 園	桑 ・ 茶 園 他					計
大 分 市	3	70	—	73	—	—	—	23	—	7	0	7	103	—	—	0
別 府 市	2	4	—	6	—	—	—	4	—	0	0	0	10	—	—	1
中 津 市	11	23	—	34	—	—	—	7	—	2	0	2	43	—	—	—
日 田 市	4	34	—	38	—	—	—	11	—	0	0	0	49	—	—	5
佐 伯 市	11	21	—	32	—	—	—	2	—	9	0	9	43	—	—	—
臼 杵 市	2	14	—	16	—	—	—	10	—	4	0	4	30	—	—	—
津 久 見 市	0	0	—	0	—	—	—	2	—	16	—	16	18	—	—	—
竹 田 市	0	32	—	32	—	—	—	12	—	0	0	0	44	—	—	2
豊 後 高 田 市	6	26	—	32	—	—	—	19	—	2	0	2	53	—	—	—
杵 築 市	5	16	—	21	—	—	—	8	—	9	0	9	38	—	—	0
宇 佐 市	16	66	—	82	—	—	—	15	—	12	0	12	109	—	—	0
市 部 計	60	306	—	366	—	—	—	113	—	61	0	61	540	—	—	8
大 田 村	1	11	—	12	—	—	—	0	—	0	0	0	12	—	—	—
真 玉 町	2	6	—	8	—	—	—	13	—	4	0	4	25	—	—	—
香 々 地 町	0	6	—	6	—	—	—	6	—	5	0	5	17	—	—	—
国 見 町	4	13	—	17	—	—	—	6	—	8	0	8	31	—	—	—
姫 島 村	0	1	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	3	—	—	—
国 東 町	2	26	—	28	—	—	—	7	—	12	0	12	47	—	—	—
武 蔵 町	2	12	—	14	—	—	—	4	—	3	—	3	21	—	—	—
安 岐 町	1	22	—	23	—	—	—	5	—	8	0	8	36	—	—	—
日 出 町	1	11	—	12	—	—	—	4	—	11	0	11	27	—	—	0
山 香 町	1	21	—	22	—	—	—	2	—	1	2	3	27	—	—	—
野 津 原 町	4	11	—	15	—	—	—	5	—	0	0	0	20	—	—	0
狭 間 町	0	21	—	21	—	—	—	1	—	0	0	0	22	—	—	0
庄 内 町	0	33	—	33	—	—	—	6	—	0	0	0	39	—	—	19
湯 布 院 町	0	16	—	16	—	—	—	2	—	0	0	0	18	—	—	38
佐 賀 関 町	0	6	—	6	—	—	—	2	—	7	—	7	15	—	—	—
上 浦 町	0	2	—	2	—	—	—	0	—	4	—	4	6	—	—	—
弥 生 町	3	12	—	15	—	—	—	0	—	0	0	0	15	—	—	—
本 匠 村	0	2	—	2	—	—	—	0	—	0	0	0	2	—	—	—
宇 目 町	6	11	—	17	—	—	—	1	—	0	0	0	18	—	—	—



地		林 地											宅地	公共用地その他	合計
未 利用 草地 (原 野)	草 地 計	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地 (竹林)	林 地 計			
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 し て い る 土 地	そ の 他	計					
0	0	98	4	102	31	46	77	—	—	1	—	180	66	1	350
0	1	33	1	34	1	18	19	—	—	31	(7)	91	14	9	125
0	0	2	—	2	0	1	1	—	—	0	—	3	8	0	54
0	5	187	1	188	2	21	23	—	—	0	—	211	6	0	271
0	0	74	0	74	4	71	75	—	—	0	—	149	5	0	197
0	0	98	0	98	1	17	18	—	—	2	(1)	119	3	0	152
0	0	38	0	38	2	15	17	—	—	4	—	59	1	0	78
0	2	83	0	83	0	65	65	—	—	4	—	152	2	0	200
0	0	30	0	30	10	28	38	—	—	0	—	68	2	0	123
0	0	30	0	30	1	12	13	—	—	4	(2)	49	4	0	91
0	0	36	0	36	11	16	27	—	—	0	—	63	6	0	178
0	8	709	6	715	63	310	373	—	—	46	(10)	1,144	117	10	1,819
—	0	25	0	25	0	9	9	—	—	0	—	34	0	0	46
—	0	6	0	6	5	6	11	—	—	0	—	17	0	0	42
—	0	10	0	10	3	8	11	—	—	0	—	21	0	0	38
0	0	21	0	21	1	19	20	—	—	0	—	41	1	0	73
—	0	3	—	3	1	0	1	—	—	0	—	4	0	0	7
0	0	20	0	20	1	42	43	—	—	0	—	63	2	0	112
0	0	6	0	6	0	13	13	—	—	0	—	19	1	0	41
0	0	33	0	33	0	19	19	—	—	0	—	52	2	0	90
0	0	11	0	11	2	15	17	—	—	13	(1)	42	2	軍用3	74
0	0	65	2	67	2	34	36	—	—	14	—	117	0	0	144
0	0	39	0	39	2	30	32	—	—	1	—	72	0	0	92
J	0	19	—	19	0	9	9	—	—	1	—	29	0	0	51
0	19	43	2	45	0	20	20	—	—	16	—	81	0	0	139
0	38	23	0	23	0	26	26	—	—	14	—	63	2	池軍用16	128
—	0	26	0	26	2	6	8	—	—	0	—	34	1	0	50
0	0	6	—	6	2	2	4	—	—	0	—	10	0	0	16
0	0	40	1	41	2	25	27	—	—	0	—	68	0	0	83
0	0	64	1	65	1	51	52	—	—	4	—	121	0	0	123
0	0	103	0	103	26	115	141	—	—	0	—	244	0	ダム4	266

区 分  市 町 村	農 地												草			
	田				畑								農 地 計	利用草地		
	普通田		特 殊 田	計	普通畑			牧 草 畑	樹 園 地			永 年 牧 草 地		自 然 草 地	計	
	一 年 一 作	一 年 二 作			一 年 一 作	二 年 三 作	一 年 二 作		計	果 樹 園	桑 ・ 茶 園					そ の 他
直川村	1	12	—	13	—	—	—	0	—	0	0	0	13	—	—	—
鶴見町	1	0	—	1	—	—	—	0	—	5	—	5	6	—	—	—
米水津村	0	1	—	1	—	—	—	0	—	2	—	2	3	—	—	—
蒲江町	1	0	—	1	—	—	—	0	—	9	0	9	10	—	—	—
野津町	4	14	—	18	—	—	—	7	—	0	1	1	26	—	—	0
三重町	5	9	—	14	—	—	—	8	—	0	0	0	22	—	—	0
清川村	1	5	—	6	—	—	—	6	—	0	0	0	12	—	—	0
緒方町	1	23	—	24	—	—	—	7	—	0	0	0	31	—	—	0
朝地町	1	10	—	11	—	—	—	3	—	0	0	0	14	—	—	2
大野町	2	14	—	16	—	—	—	17	—	0	0	0	33	—	—	0
千歳村	1	6	—	7	—	—	—	4	—	0	1	1	12	—	—	0
犬飼町	0	5	—	5	—	—	—	10	—	0	0	0	15	—	—	0
荻町	0	15	—	15	—	—	—	7	—	0	0	0	22	—	—	3
久住町	0	13	—	13	—	—	—	2	—	0	0	0	15	—	—	41
直入町	0	12	—	12	—	—	—	0	—	0	0	0	12	—	—	29
九重町	1	24	—	25	—	—	—	6	—	0	0	0	31	—	—	8
玖珠町	0	28	—	28	—	—	—	3	—	0	0	0	31	—	—	15
前津江村	0	2	—	2	—	—	—	0	—	0	0	0	2	—	—	—
中津江村	1	1	—	2	—	—	—	1	—	0	0	0	3	—	—	0
上津江村	1	1	—	2	—	—	—	1	—	0	0	0	3	—	—	0
大山町	0	5	—	5	—	—	—	2	—	0	2	2	9	—	—	—
天瀬町	1	8	—	9	—	—	—	6	—	0	0	0	15	—	—	0
三光村	1	18	—	19	—	—	—	0	—	1	0	1	20	—	—	0
本耶馬溪町	0	17	—	17	—	—	—	2	—	0	0	0	19	—	—	0
耶馬溪町	0	21	—	21	—	—	—	3	—	1	0	1	25	—	—	0
山国町	1	10	—	11	—	—	—	2	—	0	0	0	13	—	—	0
院内町	2	15	—	17	—	—	—	3	—	0	0	0	20	—	—	0
安心院町	12	20	—	32	—	—	—	1	—	11	0	11	44	—	—	0
郡部計	65	552	—	617	—	—	—	167	—	92	6	98	882	—	—	155
合計	125	858	—	984	—	—	—	280	—	153	6	159	1,422	—	—	163

未 利 用 草 地 (原 野)	草 地 計	林 地											宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計
		人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地 (竹 林)	林 地 計			
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 し て い る 土 地	そ の 他	計					
—	0	39	0	39	3	26	29	—	—	0	—	68	0	0	81
—	0	5	0	5	0	9	9	—	—	0	—	14	0	0	20
0	0	9	0	9	1	10	11	—	—	2	—	22	0	0	25
0	0	45	0	45	5	32	37	—	—	0	—	82	0	0	92
0	0	43	0	43	1	46	47	—	—	18	(4)	112	1	0	139
0	0	85	0	85	2	42	44	—	—	9	(1)	139	1	0	162
0	0	21	1	22	0	9	9	—	—	4	—	35	0	0	47
0	0	67	0	67	3	45	48	—	—	2	—	117	0	0	148
0	2	35	0	35	0	16	16	—	—	2	—	53	0	0	69
0	0	46	0	46	2	24	26	—	—	3	—	75	1	0	109
0	0	4	0	4	0	3	3	—	—	3	—	10	0	0	22
0	0	19	0	19	0	8	8	—	—	4	—	31	1	0	47
0	3	23	0	23	0	2	2	—	—	0	—	25	0	0	50
0	41	39	0	39	0	38	38	—	—	9	—	86	1	0	143
0	29	11	0	11	0	28	28	—	—	2	—	41	0	2	84
7	15	116	0	116	0	29	29	—	—	81	—	226	0	0	272
7	22	139	3	142	0	49	49	—	—	8	—	199	2	34	288
2	2	68	0	68	0	5	5	—	—	0	—	73	0	0	77
—	0	71	0	71	1	6	7	—	—	0	—	81	0	3	84
4	4	74	0	74	2	4	6	—	—	0	—	81	0	1	88
0	0	34	0	34	0	3	3	—	—	0	—	37	0	0	46
0	0	62	0	62	0	16	16	—	—	8	—	86	0	0	101
—	0	16	0	16	2	8	10	—	—	0	—	26	0	0	46
0	0	37	—	37	0	29	29	—	—	0	—	66	0	0	85
1	1	82	0	82	0	76	76	—	—	1	—	159	0	0	185
—	0	77	0	77	2	28	30	—	—	0	—	107	0	0	120
0	0	47	0	47	3	44	47	—	—	1	—	95	0	0	115
0	0	58	0	58	2	33	35	—	—	7	—	100	1	0	145
21	176	1935	10	1945	79	1,117	1,196	—	—	227	(6)	3,374	19	54	4,505
21	184	2,644	16	2,660	142	1,427	1,569	—	—	273	(16)	4,518	136	64	6,324

参 考 土地利用現況別面積市町村別内訳（統計資料による）

区 分  市町村	農 地											草 地				
	田				畑							農 地 計	利用草地			
	普通田		特 殊 田	計	普 通 畑			牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計	
	一 年 一 作	一 年 二 作			一 年 一 作	二 年 三 作	一 年 二 作		計	果 樹 園	桑 ・ 茶 園 他					計
大 分 市	—	—	—	46	—	—	—	18	0	11	1	12	76	2	—	2
別 府 市	—	—	—	6	—	—	—	3	—	1	0	1	10	1	—	1
中 津 市	—	—	—	20	—	—	—	6	—	2	0	2	28	—	—	—
日 田 市	—	—	—	18	—	—	—	6	0	3	1	4	28	0	—	0
佐 伯 市	—	—	—	12	—	—	—	3	—	4	0	4	19	—	—	—
白 杵 市	—	—	—	9	—	—	—	6	—	9	0	9	24	—	—	—
津 久 見 市	—	—	—	0	—	—	—	1	—	11	—	11	12	—	—	—
竹 田 市	—	—	—	32	—	—	—	13	1	1	0	1	47	1	—	1
豊 後 高 田 市	—	—	—	16	—	—	—	8	—	3	1	4	28	—	—	—
杵 築 市	—	—	—	14	—	—	—	1	—	17	0	17	32	0	—	0
宇 佐 市	—	—	—	48	—	—	—	10	—	4	2	6	64	0	—	0
市 部 計	—	—	—	221	—	—	—	75	—	66	5	71	368	4	—	4
大 田 村	—	—	—	4	—	—	—	1	0	1	0	1	6	2	—	2
真 玉 町	—	—	—	4	—	—	—	4	—	1	0	1	9	—	—	—
香 々 地 町	—	—	—	3	—	—	—	3	—	2	0	2	8	—	—	—
国 見 町	—	—	—	4	—	—	—	4	—	5	0	5	13	—	—	—
姫 島 村	—	—	—	0	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—
国 東 町	—	—	—	13	—	—	—	3	—	6	0	6	22	—	—	—
武 蔵 町	—	—	—	5	—	—	—	1	—	3	—	3	9	—	—	—
安 岐 町	—	—	—	11	—	—	—	2	—	6	0	6	19	—	—	—
日 出 町	—	—	—	9	—	—	—	6	0	6	0	6	21	1	—	1
山 香 町	—	—	—	15	—	—	—	4	—	1	1	2	21	—	—	—
野 津 原 町	—	—	—	7	—	—	—	2	0	1	0	1	10	2	—	2
狭 間 町	—	—	—	9	—	—	—	2	—	0	0	0	11	0	—	0
庄 内 町	—	—	—	15	—	—	—	2	0	1	0	1	18	11	—	11
湯 布 院 町	—	—	—	6	—	—	—	2	—	0	0	0	8	20	—	20
佐 賀 関 町	—	—	—	2	—	—	—	1	—	4	—	4	7	—	—	—
上 浦 町	—	—	—	0	—	—	—	0	—	2	—	2	2	—	—	—
弥 生 町	—	—	—	3	—	—	—	1	—	1	0	1	5	—	—	—
本 庄 村	—	—	—	1	—	—	—	1	—	0	0	0	2	—	—	—
宇 目 町	—	—	—	4	—	—	—	2	—	0	0	0	6	—	—	—

未 利 用 草 地 ( 原 野 )	草 地 計	林 地										宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計	
		人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			除 地				林 地 計
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 地	そ の 他	計					
4	6	92	1	93	14	58	72	2	1	3	—	168	28	72	350
22	23	23	5	28	7	15	22	13	1	14	—	64	8	20	125
1	1	1	—	1	1	1	2	0	—	0	—	3	5	17	54
8	8	137	1	138	14	35	49	10	1	11	—	198	5	32	271
1	1	58	2	60	11	78	89	1	1	2	—	151	4	22	197
9	9	56	1	57	6	25	31	8	0	8	—	96	3	20	152
5	5	17	0	17	7	18	25	4	0	4	—	46	2	13	78
7	8	35	8	43	12	58	70	5	3	8	—	121	3	21	200
1	1	18	0	18	17	33	50	1	0	1	—	69	3	22	123
1	1	18	2	20	5	8	13	0	0	0	—	33	2	23	91
0	0	21	0	21	21	28	49	0	0	0	—	70	6	38	178
59	63	476	20	496	115	357	472	44	7	51	—	1019	69	300	1819
—	2	12	0	12	3	14	17	0	0	0	—	29	1	8	46
—	0	3	0	3	8	14	22	0	1	1	—	26	1	6	42
—	0	4	0	4	8	12	20	0	1	1	—	25	1	4	38
0	0	10	0	10	8	28	36	0	0	0	—	46	1	13	73
—	0	0	—	0	3	0	3	—	0	0	—	3	0	3	7
1	1	16	0	16	13	34	47	1	—	1	—	64	2	23	112
1	1	6	0	6	4	13	17	1	0	1	—	24	1	6	41
3	3	18	0	18	12	18	30	2	1	3	—	51	2	15	90
5	6	19	1	20	5	3	8	—	1	1	—	29	2	16	74
5	5	31	2	33	11	42	53	5	1	6	—	92	2	24	144
2	4	23	0	23	4	32	36	4	0	4	—	63	1	14	92
1	1	9	—	9	4	11	15	—	1	1	—	25	1	13	51
12	23	33	2	35	5	27	32	11	0	11	—	78	2	13	139
21	41	41	1	42	5	16	21	2	1	3	—	66	1	12	128
0	0	21	0	21	1	9	10	0	0	0	—	31	1	11	50
—	0	5	—	5	2	4	6	0	—	0	—	11	0	3	16
1	1	26	1	27	3	36	39	1	0	1	—	67	1	9	83
2	2	41	1	42	1	63	64	1	1	2	—	108	0	11	123
1	1	19	1	80	49	114	163	1	3	4	—	247	1	11	266

区 分 市 町 村	農 地												草 地			
	田				畑								農 地 計	利 用 草 地		
	普通田		特 殊 田	計	普 通 畑				牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計
	一 年 一 作	一 年 二 作			一 年 一 作	一 年 三 作	一 年 二 作	計		果 樹 園	桑 ・ 茶 園	そ の 他				
直川村	—	—	—	3	—	—	—	1	—	0	0	0	4	—	—	—
鶴見町	—	—	—	0	—	—	—	1	—	1	—	1	2	—	—	—
米水津村	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	2	—	—	—
蒲江町	—	—	—	1	—	—	—	3	—	2	0	2	6	—	—	—
野津町	—	—	—	8	—	—	—	9	0	0	1	1	18	2	—	2
三重町	—	—	—	8	—	—	—	9	0	0	2	2	19	2	—	2
清川村	—	—	—	4	—	—	—	2	0	1	0	1	7	0	—	0
緒方町	—	—	—	14	—	—	—	4	0	1	0	1	19	1	—	1
朝野町	—	—	—	9	—	—	—	3	0	0	0	0	12	3	—	3
大千歳村	—	—	—	9	—	—	—	10	0	1	1	2	21	1	—	1
犬飼町	—	—	—	3	—	—	—	1	—	0	2	2	6	0	—	0
荻住町	—	—	—	3	—	—	—	5	—	0	1	1	9	1	—	1
久入町	—	—	—	9	—	—	—	5	0	0	0	0	14	1	—	1
直入町	—	—	—	12	—	—	—	4	0	0	0	0	16	7	—	7
九重町	—	—	—	7	—	—	—	3	0	0	0	0	10	3	—	3
玖珠町	—	—	—	14	—	—	—	2	2	1	0	1	19	16	—	16
前津江村	—	—	—	18	—	—	—	4	2	2	0	2	26	23	—	23
中津江村	—	—	—	2	—	—	—	0	—	0	—	0	2	—	—	—
上津江村	—	—	—	1	—	—	—	1	—	0	0	0	2	1	—	1
大山町	—	—	—	2	—	—	—	0	—	0	—	0	2	3	—	3
天瀬町	—	—	—	2	—	—	—	1	—	3	0	3	6	—	—	—
三光村	—	—	—	5	—	—	—	3	0	2	0	2	10	4	—	4
本耶馬溪町	—	—	—	8	—	—	—	1	—	1	0	1	10	0	—	0
耶馬溪町	—	—	—	5	—	—	—	1	—	1	0	1	7	0	—	0
山国町	—	—	—	7	—	—	—	3	0	1	0	1	11	1	—	1
院内町	—	—	—	5	—	—	—	1	—	0	0	0	6	2	—	2
安心院町	—	—	—	10	—	—	—	3	0	0	0	0	13	1	—	1
郡部計	—	—	—	19	—	—	—	2	0	2	1	3	24	3	—	3
総計	—	—	—	303	—	—	—	125	4	60	9	69	501	111	—	111
総計	—	—	—	524	—	—	—	200	5	126	14	140	869	115	—	115

未 利 用 草 地 ( 原 野 )	草 地 計	林 地										宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計		
		人 工 林			天 然 林			未 立 木 地							除 地	林 地 計
		針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 し て い る 土 地	そ の 他	計						
—	0	34	1	35	1	35	36	0	1	1	—	72	0	5	81	
—	0	6	0	6	0	7	7	—	0	0	—	13	0	5	20	
1	1	8	0	8	2	10	12	0	1	1	—	21	0	1	25	
2	2	26	0	26	4	40	44	1	1	2	—	72	1	11	92	
12	14	41	1	42	6	36	42	3	5	8	—	92	1	14	139	
10	12	45	3	48	10	52	62	—	0	0	—	110	2	19	162	
2	2	7	1	8	1	24	25	—	0	0	—	33	1	4	47	
1	2	24	3	27	19	63	82	0	0	0	—	109	2	16	148	
1	4	16	4	20	4	20	24	1	0	1	—	45	1	7	69	
6	7	27	1	28	2	35	37	0	2	2	—	67	1	13	109	
1	1	6	0	6	1	4	5	0	0	0	—	11	0	4	22	
2	3	8	1	9	0	15	15	5	0	5	—	29	1	5	47	
2	3	12	1	13	2	5	7	3	0	3	—	23	1	9	50	
32	39	25	3	28	2	21	23	20	3	23	—	74	1	13	143	
9	12	15	7	22	3	19	22	10	0	10	—	54	1	7	84	
50	66	79	4	83	3	28	31	34	7	41	—	155	2	30	272	
41	64	80	2	82	9	53	62	22	4	26	—	170	3	25	288	
2	2	60	0	60	1	9	10	2	—	2	—	72	0	1	77	
—	1	61	1	62	2	10	12	0	0	0	—	74	0	7	84	
2	5	65	0	65	2	11	13	0	0	0	—	78	0	3	88	
1	1	25	0	25	1	9	10	1	—	1	—	36	0	3	46	
6	10	35	0	35	4	25	29	6	0	6	—	70	1	10	101	
—	0	10	0	10	3	12	15	0	0	0	—	25	1	10	46	
1	1	30	—	30	4	37	41	1	—	1	—	72	1	4	85	
2	3	76	0	76	5	76	81	—	1	1	—	158	1	12	185	
—	2	75	1	76	3	27	30	0	—	0	—	106	1	5	120	
2	3	30	0	30	7	50	57	—	1	1	—	88	1	10	115	
10	13	31	0	31	14	36	50	—	1	1	—	82	2	24	145	
253	364	1354	43	1397	264	1259	1523	138	38	176	—	3096	47	497	4505	
312	427	1830	63	1893	379	1616	1995	182	45	227	—	4,115	116	797	6324	

1-2 D.I.D おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区 分	市 街 地 の 内 訳								
	商 業 区	工 業 区			住 宅 区	そ の 他			
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計
市 町 村									
大 分 市	2	5	6	11	7	0	1	3	4
別 府 市	4	—	0	0	2	—	0	1	1

- 公共区（用地）は公園、学校、官公庁等
- その他は道路、河川、墓地等
- 運輸区は駅、飛行場、バスターミナル等



市 街 地 計	市 街 地 外 の 内 訳							備 考
	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 用 地	そ の 他	計	
24	76	6	168	4	3	69	326	350
7	10	23	64	1	6	14	118	125

## 2. 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

市町村	区分	0°~3°	3°8'~8°	8°15'~15°	15°20'~20°	20°30'~30°	30°40'~40°	40°~	合計	備考
大分市		139	73	46	55	37	—	—	350	
別府市		18	44	36	23	4	0	—	125	
中津市		45	6	3	—	—	—	—	54	
日田市		27	23	48	129	41	3	—	271	
佐伯市		12	11	28	107	39	—	—	197	
臼杵市		14	26	27	60	25	—	—	152	
津々見市		3	3	3	22	47	—	—	78	
竹田市		10	66	55	38	28	3	—	200	
豊後高田市		29	43	27	21	3	0	—	123	
杵築市		18	37	22	12	1	1	—	91	
宇佐市		90	16	37	31	4	—	—	178	
市部計		405	343	332	498	229	7	—	1,819	
太田村		2	24	15	5	—	—	—	46	
真玉町		6	11	15	7	2	0	1	42	
香々地町		10	10	8	6	2	2	0	38	
国見町		3	40	17	9	3	1	—	73	
姫島村		2	4	1	—	—	—	—	7	
国東町		12	46	26	21	5	2	—	112	
武蔵町		6	6	18	11	—	—	—	41	
安岐町		10	34	31	12	2	1	—	90	
日出町		15	31	22	5	1	—	—	74	
山香町		8	47	47	38	4	—	—	144	
野津原町		1	10	18	37	24	2	—	92	
狭間町		9	20	14	6	2	—	—	51	
庄内町		12	21	27	32	30	16	1	139	
湯布院町		16	21	48	38	4	1	—	128	
佐賀関町		2	9	24	13	2	—	—	50	
上浦町		—	—	—	4	12	—	—	16	
弥生町		1	3	11	41	27	—	—	83	
本匠村		—	—	2	90	31	—	—	123	
宇目町		1	5	26	163	68	2	1	266	

市町村	区分	0°~ 3°	3°~ 8°	8°~ 15°	15°~ 20°	20°~ 30°	30°~ 40°	40°~	合 計	備 考
直川村		—	3	8	50	20	—	—	81	
鶴見町		—	—	1	14	5	—	—	20	
米水津村		—	1	1	19	4	—	—	25	
蒲江町		1	2	2	39	48	0	—	92	
野津町		—	39	33	59	8	—	—	139	
三重町		21	16	15	61	49	0	—	162	
清川村		1	4	17	17	8	—	—	47	
緒方町		7	34	22	19	32	33	1	148	
朝地町		1	9	15	34	9	1	—	69	
大野町		4	26	35	36	8	—	—	109	
千歳村		6	8	8	0	—	—	—	22	
犬飼村		2	11	14	13	7	—	—	47	
荻町		23	14	10	1	2	—	—	50	
久住町		6	37	43	29	21	6	1	143	
直入町		—	1	21	53	9	0	—	84	
九重町		20	55	97	82	16	2	—	272	
玖珠町		16	63	115	79	14	1	—	288	
前津江村		—	0	3	31	43	—	—	77	
中津江村		—	1	9	52	22	—	—	84	
上津江村		—	4	17	57	10	—	—	88	
大山町		—	2	5	21	16	2	—	46	
天瀬町		3	38	34	22	4	—	—	101	
三光村		4	13	23	5	1	—	—	46	
本耶馬溪町		0	5	8	51	21	—	—	85	
耶馬溪町		—	0	12	118	52	3	—	185	
山国町		—	—	9	72	39	0	—	120	
院内町		—	9	42	57	7	—	—	115	
安心院町		2	35	70	35	3	—	—	145	
郡部計		233	772	1,059	1,664	697	75	5	4,505	
合 計		638	1,120	1,391	2,162	926	82	5	6,324	

2-2 標高別面積市町村別内訳

区分 市町村	0 <sup>m</sup> ~ <sup>m</sup> 100	100 <sup>m</sup> 200	200 <sup>m</sup> 400	400 <sup>m</sup> 600	600 <sup>m</sup> 800	800 <sup>m</sup> 1000	1000 <sup>m</sup> 1500	1500 <sup>m</sup>	合計	備考
大分市	232	66	38	13	1	—	—	—	350	
別府市	15	9	36	35	18	7	5	0	125	
中津市	53	1	—	—	—	—	—	—	54	
日田市	39	58	98	51	21	4	—	—	271	
佐伯市	75	48	51	23	—	—	—	—	197	
臼杵市	78	38	29	6	1	—	—	—	152	
津久見市	32	18	18	9	1	—	—	—	78	
竹田市	—	—	91	69	16	1	13	—	200	
豊後高田市	53	28	35	7	—	—	—	—	123	
杵築市	59	17	15	—	—	—	—	—	91	
宇佐市	118	35	20	5	—	—	—	—	178	
市部計	754	318	431	218	58	22	18	0	1819	
大田村	—	13	32	1	—	—	—	—	46	
真玉町	23	10	7	2	—	—	—	—	42	
香々地町	19	11	7	1	—	—	—	—	38	
国見町	39	19	12	3	0	—	—	—	73	
姫島村	7	0	0	—	—	—	—	—	7	
国東町	57	33	19	3	0	—	—	—	112	
武蔵町	20	11	10	—	—	—	—	—	41	
安岐町	23	31	31	5	0	—	—	—	90	
日出町	38	10	14	11	1	—	—	—	74	
山香町	14	54	69	7	0	—	—	—	144	
野津原町	6	18	31	31	6	0	—	—	92	
狭間町	12	21	16	2	—	—	—	—	51	
庄内町	5	16	28	31	25	19	15	—	139	
湯布院町	—	—	2	37	64	21	4	0	128	
佐賀関町	33	13	4	0	—	—	—	—	50	
上浦町	9	6	1	0	—	—	—	—	16	
弥生町	21	24	26	12	0	—	—	—	83	
本匠村	12	23	46	39	3	—	—	—	123	
宇目町	—	45	112	68	23	9	9	—	266	
直川村	16	30	28	7	—	—	—	—	81	

区分 市町村	0 <sup>m</sup> ~ 100 <sup>m</sup>	100 <sup>m</sup> ~ 200 <sup>m</sup>	200 <sup>m</sup> ~ 400 <sup>m</sup>	400 <sup>m</sup> ~ 600 <sup>m</sup>	600 <sup>m</sup> ~ 800 <sup>m</sup>	800 <sup>m</sup> ~ 1000 <sup>m</sup>	1000 <sup>m</sup> ~ 1500 <sup>m</sup>	1500 <sup>m</sup> ~	合計	備考
鶴見町	14	4	2	—	—	—	—	—	20	
米水津村	10	8	6	1	—	—	—	—	25	
蒲江町	43	26	20	3	—	—	—	—	92	
野津町	26	57	41	15	—	—	—	—	139	
三重町	12	48	54	35	8	2	2	1	162	
清川村	0	18	20	7	2	—	—	—	47	
緒方町	—	23	53	20	18	17	17	0	148	
朝地町	—	9	26	26	8	0	—	—	69	
大野町	0	24	59	18	8	0	—	—	109	
千歳町	6	14	2	—	—	—	—	—	22	
犬飼町	16	17	12	2	—	—	—	—	47	
荻町	—	—	13	27	10	—	—	—	50	
久住町	—	—	—	35	49	16	34	9	143	
直入町	—	—	10	52	19	3	—	—	84	
九重町	—	—	9	67	81	59	55	1	272	
玖珠町	—	—	59	128	71	20	10	—	288	
前津江村	—	—	2	23	30	19	3	—	77	
中津江村	—	—	6	27	34	15	2	—	84	
上津江村	—	—	2	29	39	16	2	—	88	
大山町	—	4	25	15	2	0	—	—	46	
天瀬町	0	10	56	21	11	3	—	—	101	
三光村	23	14	7	2	—	—	—	—	46	
本耶馬溪町	6	26	42	11	—	—	—	—	85	
耶馬溪町	2	30	81	59	10	3	—	—	185	
山国町	—	6	34	39	30	11	—	—	120	
院内町	13	27	39	29	6	—	1	—	115	
安心院町	3	53	50	30	8	1	0	—	145	
郡部計	528	806	1225	981	566	224	154	11	4505	
合計	1282	1124	1656	1199	624	256	172	11	6324	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村	山 地 ・ 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山 地	計	大起伏	火山性	計
大 分 市	5	19	159	—	183	—	1	1
別 府 市	17	19	30	43	109	—	—	—
中 津 市	—	—	—	—	—	—	4	4
日 田 市	9	86	121	3	219	6	—	6
佐 伯 市	—	69	77	—	146	10	—	10
臼 杵 市	—	19	109	—	128	1	—	1
津久見市	3	30	40	—	73	1	—	1
竹 田 市	30	14	30	26	100	—	70	70
豊後高田市	—	22	54	—	76	—	—	—
杵 築 市	—	—	33	1	34	—	13	13
宇 佐 市	—	13	45	—	58	—	14	14
市 部 計	64	291	698	73	1126	18	102	120
大 田 村	—	—	29	—	29	—	—	—
真 玉 市	—	10	13	4	27	—	—	—
香々地町	—	5	21	3	29	—	—	—
国 見 町	—	8	43	4	55	—	—	—
姫 島 村	—	—	5	—	5	—	—	—
国 東 町	—	11	50	—	61	—	—	—
武 蔵 町	—	—	22	—	22	—	—	—
安 岐 町	—	5	52	—	57	—	—	—
日 出 町	—	7	22	14	43	—	17	17
山 香 町	—	11	85	19	115	—	—	—
野津原町	—	20	56	—	76	—	—	—
狭 間 町	—	6	27	—	33	—	—	—
庄 内 町	19	49	34	19	121	—	—	—
湯布院町	20	27	31	36	114	—	—	—
佐賀関町	—	—	38	—	38	2	—	2
上 浦 町	—	6	10	—	16	—	—	—
弥 生 町	—	29	41	—	70	—	—	—
本 匠 村	—	45	76	—	121	—	—	—
宇 目 町	35	91	124	—	250	—	—	—
直 川 町	—	2	66	—	68	—	—	—
鶴 見 町	—	—	18	—	18	2	—	2
米水津町	—	10	11	—	21	0	—	0
蒲 江 町	—	30	50	—	80	3	—	3
野 津 町	—	11	82	—	93	—	21	21

台地・段丘				低地				合計	備考
砂礫	ローム	岩石	計	扇状地性	三角洲性	自然堤防砂洲	計		
7	-	28	35	104	10	17	131	350	
-	-	-	-	15	-	1	16	125	
18	-	-	18	22	10	-	32	54	
-	-	8	8	38	-	-	38	271	
-	-	-	-	35	6	-	41	197	
-	5	-	5	18	-	-	18	152	
-	-	-	-	4	-	-	4	78	
-	-	-	-	30	-	-	30	200	
6	-	-	6	28	13	-	41	123	
-	-	18	18	23	-	3	26	91	
35	-	-	35	43	26	2	71	178	
66	5	54	125	360	65	23	448	1,819	
-	-	-	-	17	-	-	17	46	
2	-	-	2	9	4	-	13	42	
-	-	-	-	8	1	-	9	38	
-	-	2	2	16	-	-	16	73	
-	-	-	-	-	-	2	2	7	
4	-	7	11	40	-	0	40	112	
-	-	5	5	13	-	1	14	41	
-	-	5	5	28	-	0	28	90	
-	-	1	1	13	-	0	13	74	
-	-	7	7	22	-	-	22	144	
-	-	2	2	14	-	-	14	92	
-	-	11	11	7	-	-	7	51	
-	-	15	15	3	-	-	3	139	
-	-	2	2	11	-	1	12	128	
2	-	-	2	8	-	-	8	50	
-	-	-	-	-	-	-	-	16	
-	-	1	1	12	-	-	12	83	
-	-	-	-	2	-	-	2	123	
3	-	-	3	11	-	2	13	266	
-	-	-	-	13	-	-	13	81	
-	-	-	-	-	-	-	-	20	
-	-	-	-	4	-	-	4	25	
-	-	-	-	8	-	1	9	92	
-	3	4	7	18	-	-	18	139	

地形区分 市町村	山 地 ・ 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山 地	計	大起伏	火山性	計
三 重 町	11	23	76	—	110	—	28	28
清 川 村	—	13	12	—	25	—	14	14
緒 方 町	53	21	9	—	83	—	42	42
朝 地 町	—	4	36	—	40	—	15	15
大 野 町	—	24	36	—	60	—	36	36
千 歳 村	—	—	5	—	5	—	11	11
犬 飼 町	—	—	27	—	27	—	6	6
荻 町	—	—	6	38	44	—	4	4
久 住 町	28	13	27	58	126	—	—	—
直 入 町	2	3	58	8	71	—	—	—
九 重 町	11	54	93	84	242	—	—	—
玖 珠 町	—	39	189	20	248	—	—	—
前 津 江 町	3	72	—	—	75	—	—	—
中 津 江 村	4	64	13	—	81	—	—	—
上 津 江 村	—	34	52	—	86	—	—	—
大 山 町	—	26	16	—	42	—	—	—
天 瀬 町	—	19	75	—	94	—	—	—
三 光 村	—	12	1	—	13	—	11	11
本 耶 馬 溪 町	—	21	49	—	70	—	—	—
耶 馬 溪 町	—	65	97	—	162	—	—	—
山 国 町	121	55	40	—	107	—	—	—
院 内 町	—	17	74	—	91	—	—	—
安 心 院 町	—	9	82	8	99	—	—	—
郡 部 計	198	971	2079	315	3,563	7	205	212
	262	1,262	2,777	388	4,689	25	307	332



台地・段丘				低地				合計	備考
砂礫	ローム	岩石	計	扇状地性	三角洲性	自然堤防砂洲	計		
-	-	6	6	18	-	-	18	162	
-	-	6	6	2	-	-	2	47	
-	-	0	0	23	-	-	23	148	
-	-	-	-	14	-	-	14	69	
-	-	-	-	13	-	-	13	109	
-	-	2	2	4	-	-	4	22	
-	1	11	12	2	-	-	2	47	
-	-	-	-	2	-	-	2	50	
-	-	-	-	17	-	-	17	143	
-	-	-	-	11	-	2	13	84	
-	-	-	-	30	-	-	30	272	
-	-	6	6	34	-	-	34	288	
-	-	-	-	2	-	-	2	77	
-	-	-	-	3	-	-	3	84	
-	-	-	-	2	-	-	2	88	
-	-	-	-	4	-	-	4	46	
-	-	-	-	7	-	-	7	101	
2	-	-	2	20	-	-	20	46	
-	-	1	1	14	-	-	14	85	
-	-	1	1	22	-	-	22	185	
-	-	-	-	13	-	-	13	120	
-	-	-	-	24	-	-	24	115	
-	-	12	12	34	-	-	34	145	
13	4	107	124	592	5	9	606	4505	
79	9	161	249	952	70	32	1,054	6,324	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳表

表層地質 市町村	未固結堆積物						固結堆積物												
	埋立地砂泥	碎屑物	泥	砂	礫	計	泥岩	頁岩	砂岩	礫岩	砂岩粘板岩礫岩互層	砂岩頁岩	砂岩粘板岩互層	粘板岩 (I)	粘板岩 (II)	砂岩粘板岩互層	チャ	石灰岩	
大分市	13	—	90	3	30	136	4	11	30	50	—	—	—	—	—	—	—	—	1
別府市	—	53	14	—	—	67	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中津市	—	—	28	1	21	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日田市	—	3	24	—	—	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐伯市	—	—	27	—	—	27	—	—	—	—	11	105	52	—	—	—	—	1	1
臼杵市	—	—	8	—	—	8	—	11	20	7	—	—	—	—	19	7	9	4	
津久見市	—	—	8	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	14	33	12	10	
竹田市	—	—	7	—	—	7	—	—	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
豊後高田市	6	—	29	—	4	39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
杵築市	1	4	14	2	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
宇佐市	—	—	65	4	31	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
市部計	20	60	314	10	86	490	4	22	55	59	11	105	52	—	33	40	22	16	
大田村	—	—	11	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
真玉町	3	—	10	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
香地町	—	—	7	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
国見町	—	—	14	—	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
姫島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
国東町	—	—	35	—	7	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
武蔵町	—	—	11	—	2	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
安岐町	—	—	24	—	3	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
日出町	—	14	9	—	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
山香町	—	—	8	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
野津原町	—	—	7	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	17	—	—	—	—	
狭間町	—	—	5	—	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
庄内町	—	27	13	—	3	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
湯布院町	—	32	10	—	—	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
佐賀関町	—	—	3	—	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
上浦町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	5	—	—	—	—	4	3	1	
弥生町	—	—	5	—	—	5	—	—	—	—	18	14	—	—	—	35	10	—	
本匠村	—	—	3	—	—	3	—	—	—	8	42	—	—	—	6	44	10	5	
宇目町	—	—	12	—	—	12	—	—	—	—	19	128	—	—	—	37	30	7	

計	火山性岩石								深成岩				変成岩					変質岩	合計	
	火山 碎 屑 物	熔 結 凝 灰 岩	安 山 岩	軽 紋 岩	流 紋 岩	集 塊 岩	凝 灰 岩	輝 綠 凝 灰 岩	計	斑 岩	花 崗 岩	蛇 紋 岩	計	黒 色 片 岩	緑 色 片 岩	そ の 他 の 片 岩	圧 砕 岩	計		変 朽 安 山 岩
96	-	12	3	-	-	9	30	-	54	-	-	4	4	24	20	16	-	60	-	350
-	-	-	51	6	-	1	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	125
-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54
-	-	61	132	-	1	29	1	-	224	-	-	-	-	-	-	2	-	2	18	271
170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	197
77.	-	24	-	-	-	-	-	-	24	-	-	3	3	5	21	11	3	40	-	152
69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	78
7	1	137	39	-	9	-	-	-	186	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200
-	-	-	5	-	-	79	-	-	84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123
-	-	-	6	-	-	44	15	-	65	-	2	-	2	-	-	3	-	3	-	91
-	-	-	19	-	-	48	-	-	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	178
419	1	234	255	6	10	214	46	-	766	-	2	8	10	29	41	32	3	105	29	1819
-	-	-	-	-	-	35	-	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
-	-	-	4	-	-	25	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
-	-	-	4	-	-	27	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
-	-	-	9	-	-	50	-	-	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73
-	-	-	3	-	-	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
-	-	-	7	-	-	63	-	-	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	112
-	-	-	2	-	-	20	-	-	22	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	41
-	-	-	1	-	-	55	-	-	56	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	90
-	-	-	29	-	3	12	7	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74
-	-	-	57	-	-	37	6	-	100	-	2	-	2	-	-	3	-	3	31	144
17	-	31	10	-	4	-	6	-	51	-	15	2	17	-	-	-	-	-	-	92
-	-	4	6	18	-	4	13	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
-	3	8	61	17	5	-	2	-	96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	139
-	-	-	82	-	4	-	-	-	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	27	9	3	-	39	-	50
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
77	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	1	1	123
221	-	7	7	-	-	-	-	-	14	10	9	-	19	-	-	-	-	-	-	266

表層地質 市町村		未固結堆積物					固結堆積物												
		埋立地砂泥	碎屑物	泥	砂	礫	計	泥岩	頁岩	砂岩	礫岩	砂岩粘板岩礫岩互層	砂岩頁岩	砂岩粘板岩互層	粘板岩 (I)	粘板岩 (II)	砂岩粘板岩互層	チャ	石灰岩
直川村	—	—	3	—	—	3	—	—	—	—	15	61	—	—	—	—	—	—	—
鶴見町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	14	—	—	—	—	—	—
米水津村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	4	—	—	—	—	—	—
蒲江町	—	—	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—	18	67	—	—	—	—	—
野津町	—	—	4	—	—	4	—	18	14	3	—	—	—	—	14	26	4	9	
三重町	—	—	8	—	—	8	—	—	1	4	6	—	—	—	35	25	8	5	
清川村	—	—	10	—	—	10	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	2	3	
緒方町	—	—	5	—	—	5	—	—	8	—	—	—	—	—	4	—	—	—	
朝地町	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	1	—	
大野町	—	—	6	—	—	6	—	—	—	21	—	—	—	—	20	—	1	—	
千歳村	—	—	2	—	—	2	—	1	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	
犬飼町	—	—	2	—	—	2	—	7	14	6	—	—	—	—	—	—	—	—	
荻町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
久住町	—	26	—	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
直入町	—	9	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
九重町	—	36	9	—	—	45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
玖珠町	—	19	30	—	—	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
前津江村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
中津江村	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
上津江村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
大山町	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
天瀬町	—	—	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
三光町	—	—	15	—	3	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
本耶馬溪町	—	—	5	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
耶馬溪町	—	—	7	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
山国町	—	—	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
院内町	—	—	14	—	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
安心院町	—	1	17	—	—	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
郡部計	3	164	34	—	21	528	—	26	42	49	105	227	36	67	105	171	69	30	
合計	23	224	654	10	107	1018	4	48	97	108	116	332	88	67	138	211	91	46	

計	火山性岩石								深成岩			変成岩					変質岩	合計	
	火山 碎屑 物	熔 結 凝 灰 岩	安 山 岩	軽 岩	流 紋 岩	集 塊 岩	凝 灰 岩	輝 綠 凝 灰 岩	計	斑 岩	花 崗 岩	蛇 紋 岩	計	黒 色 片 岩	緑 色 片 岩	そ の 他 の 片 岩			圧 砕 岩
76	—	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
22	—	—	—	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25
85	—	—	—	—	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92
88	—	39	—	—	—	—	—	39	—	—	6	6	—	—	—	2	2	—	139
84	—	42	13	—	1	—	—	56	—	—	12	12	—	—	—	2	2	—	162
9	—	22	—	—	—	—	—	22	—	—	6	6	—	—	—	—	—	—	47
12	—	59	43	—	—	8	—	110	9	3	5	17	—	—	—	4	4	—	148
10	—	33	3	—	16	—	—	52	—	5	—	5	—	—	—	—	—	—	69
42	—	39	9	—	7	—	—	55	—	6	—	6	—	—	—	—	—	—	109
6	—	8	1	—	4	—	1	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
27	—	15	—	—	3	—	—	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47
—	—	48	2	—	—	—	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50
—	36	33	48	—	—	—	—	117	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	143
—	17	48	9	—	1	—	—	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	84
—	18	16	164	—	15	3	11	227	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	272
—	—	93	84	—	44	7	11	239	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	288
—	—	—	45	—	5	9	—	59	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	77
—	—	6	52	—	3	4	—	65	—	2	—	2	—	—	—	—	—	15	84
—	—	8	45	—	—	19	1	73	—	2	—	2	—	—	—	—	—	13	88
—	—	11	29	—	2	—	2	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46
—	—	40	20	—	38	—	—	98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	101
—	—	—	3	—	—	25	—	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46
—	—	13	12	—	—	40	—	65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	85
—	—	66	61	—	—	50	—	177	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	185
—	—	—	54	—	—	45	—	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	120
—	—	5	27	—	7	42	20	101	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	115
—	—	—	44	—	2	17	58	121	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	145
927	74	697	1050	35	164	597	142	7 2766	19	57	41	117	27	9	6	9	51	116	4505
1346	75	931	1305	41	174	811	188	7 3532	19	59	49	127	56	50	38	12	156	145	6324

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土 壤 市 町 村	岩 石 地		未 熟 土			黒 ぼ く				
	岩 石 地	計	残 積 性 未 熟 土 壤	砂 丘 未 熟 土 壤	計	厚 層 黒 ぼ く 土 壤	黒 ぼ く 土 壤	粗 粒 黒 ぼ く 土 壤	粗 粒 黒 ぼ く 土 壤 (下層アカボヤ層)	粗 粒 黒 ぼ く 土 壤 (下層コラ層)
大分市	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—
津市	—	—	—	—	—	2	52	—	—	—
日田市	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
佐伯市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白杵市	—	—	6	—	6	—	—	—	—	—
津久見市	—	—	6	—	6	—	—	—	—	—
竹田市	—	—	13	—	13	—	—	—	—	—
豊後高田市	—	—	—	—	—	—	52	—	—	—
杵築市	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
宇佐市	—	—	—	1	1	—	7	—	—	—
宇部市	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
計	2	2	25	1	26	2	127	2	—	—
大田村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真玉町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香々地町	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
国見町	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
国島村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国東町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
武蔵町	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
安岐町	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
日出町	—	—	—	—	—	—	30	—	—	—
山香町	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—
野津原町	—	—	—	—	—	7	29	—	—	—
狭間町	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
庄内町	—	—	—	—	—	12	33	17	—	—
湯布院町	1	1	—	—	—	8	56	5	—	—
佐賀関町	—	—	9	—	9	—	—	—	—	—
上浦町	—	—	6	—	6	—	—	—	—	—
弥生町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本匠村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
字目町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

土			褐色森林土							
多湿黒ボク土壤	淡色黒ボク土壤	計	乾性褐色森林土壤	乾性褐色森林土壤 (黄褐色系)	乾性褐色森林土壤 (赤褐色系)	褐色森林土壤	褐色森林土壤 (黄褐色系)	褐色森林土壤 (赤褐色系)	湿性褐色森林土壤	計
5	2	20	37	26	14	75	20	6	2	180
-	27	81	3	15	-	4	-	-	2	24
5	4	12	-	-	-	-	-	3	-	3
-	23	23	-	22	-	76	51	-	37	86
-	-	-	-	79	-	64	-	-	-	143
-	3	3	10	3	58	30	-	17	6	124
-	-	-	-	22	12	10	-	4	3	51
-	28	80	55	16	-	28	-	-	4	103
-	-	-	1	32	16	17	-	9	-	75
7	7	21	2	39	-	3	-	-	-	44
-	4	6	-	24	27	13	-	-	-	64
17	98	246	108	278	127	320	71	39	54	997
-	3	3	-	28	-	-	-	-	-	28
-	-	-	-	10	3	7	-	-	-	20
-	-	-	-	13	-	4	2	-	2	21
-	-	-	1	33	-	11	-	-	-	45
-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5
2	6	8	-	41	-	16	-	-	1	58
1	-	1	-	20	-	1	-	-	-	21
2	15	19	-	54	-	4	-	-	-	58
5	7	42	2	19	-	-	-	-	-	21
-	16	25	2	58	-	41	-	3	-	104
1	3	40	-	5	-	18	15	-	-	38
5	5	12	-	13	-	4	4	-	-	21
6	41	109	-	3	-	3	-	-	-	6
2	42	113	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	16	-	-	15	-	31
-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	6
-	-	-	-	30	-	31	-	-	9	70
-	6	6	-	31	-	44	-	-	41	116
-	-	-	-	76	-	122	-	-	52	250

土 壤 市 町 村	岩 石 地		未 熟 土			黒 ボ ク				
	岩 石 地	計	残 積 性 未 熟 土 壤	砂 丘 未 熟 土 壤	計	厚 層 黒 ボ ク 土 壤	黒 ボ ク 土 壤	粗 粒 黒 ボ ク 土 壤	粗 粒 黒 ボ ク 土 壤 (下層アカボヤ層)	粗 粒 黒 ボ ク 土 壤 (下層コラ層)
直川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鶴見町	—	—	10	—	10	—	—	—	—	—
米水津村	—	—	9	—	9	—	—	—	—	—
蒲江町	—	—	27	—	27	—	—	—	—	—
野津町	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—
三重町	—	—	—	—	—	—	30	—	—	—
清川村	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—
緒方町	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—
朝地町	—	—	—	—	—	2	26	—	—	—
大野町	—	—	—	—	—	—	48	—	—	—
千歳村	—	—	—	—	—	—	11	—	—	—
犬飼町	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—
荻町	—	—	—	—	—	—	28	—	—	—
久住町	3	3	—	—	—	46	46	—	—	—
直入町	—	—	—	—	—	28	41	1	—	—
九重町	1	1	—	—	—	72	110	24	—	—
玖珠町	1	1	—	—	—	58	124	4	—	—
前津江村	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—
中津江村	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
上津江村	—	—	—	—	—	—	21	—	—	—
大山町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天瀬町	—	—	—	—	—	11	56	—	—	—
三光村	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
本耶馬溪町	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
耶馬溪町	4	4	—	—	—	—	3	—	—	—
山国町	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—
院内町	—	—	—	—	—	—	26	—	—	—
安心院町	—	—	—	—	—	—	37	—	—	—
郡部計	17	17	61	1	62	244	812	51	—	—
合 計	19	19	86	2	88	246	939	53	—	—



土			褐色森林土							
多湿黒ボク土壤	淡色黒ボク土壤	計	乾性褐色森林土壤	乾性(黄褐)森林土壤	乾性(赤褐)森林土壤	褐色森林土壤	褐色(黄褐)森林土壤	褐色(赤褐)森林土壤	湿性褐色森林土壤	計
-	-	-	-	31	3	24	-	-	12	70
-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	7
-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	13
-	-	-	-	44	-	13	-	-	-	57
2	37	43	17	19	-	40	-	-	7	83
3	27	60	1	25	-	41	-	-	23	90
-	9	14	7	7	-	10	-	-	2	26
-	1	13	30	27	-	46	-	-	14	117
1	11	40	15	-	-	3	-	-	-	18
4	9	61	6	13	-	17	-	-	-	36
1	-	12	2	-	-	2	-	-	-	4
1	7	21	2	8	-	10	-	-	-	20
12	8	48	-	-	-	-	-	-	-	-
17	28	137	-	-	-	-	-	-	-	-
8	2	80	-	-	-	-	-	-	-	-
4	42	252	-	-	-	-	-	-	-	-
1	62	249	2	-	-	5	13	-	-	20
-	-	6	2	1	-	37	9	-	21	70
-	-	3	-	-	-	43	5	-	29	77
-	15	36	-	-	-	21	8	-	21	50
-	13	13	-	-	-	12	7	-	6	25
-	4	71	-	-	-	4	23	-	-	27
-	-	-	-	5	13	6	-	2	-	26
-	-	-	1	32	-	16	23	-	-	72
-	11	14	-	27	-	41	70	-	9	147
-	4	5	-	7	-	34	34	-	23	98
1	5	32	-	47	-	15	-	-	-	62
-	25	62	-	29	-	11	-	-	-	40
79	464	1,650	90	783	35	761	213	20	272	2,174
96	562	1,896	198	1,061	162	1,081	284	59	326	3,171

土 壤 市 町 村	赤 黄 色 土				褐 色 低 地 土 壤			灰
	赤 色 土 壤	黄 色 土 壤	暗 赤 色 土 壤	計	褐 色 低 地 土 壤	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壤
大 分 市	—	13	—	13	—	5	5	30
別 府 市	—	1	—	1	—	—	—	2
中 津 市	—	5	—	5	—	—	—	11
日 田 市	—	18	—	18	—	—	—	7
佐 伯 市	—	3	—	3	—	1	1	—
白 杵 市	4	3	2	9	—	—	—	—
津 久 見 市	3	8	—	11	—	3	3	—
竹 田 市	—	—	—	—	—	—	—	3
豊 後 高 田 市	—	15	—	15	—	—	—	4
杵 築 市	—	7	—	7	—	—	—	3
宇 佐 市	—	18	—	18	—	—	—	36
市 部 計	7	91	2	100	—	9	9	97
大 田 村	—	—	—	—	—	—	—	2
真 玉 町	—	10	—	10	—	—	—	—
香 々 地 町	—	9	—	9	—	—	—	—
国 見 町	—	8	—	8	—	—	—	6
姫 島 村	—	1	—	1	—	—	—	—
国 東 町	—	15	—	15	—	—	—	—
武 蔵 町	—	5	—	5	—	—	—	—
安 岐 町	—	—	—	—	—	—	—	4
日 出 町	—	4	—	4	—	—	—	2
山 香 町	—	3	—	3	—	—	—	4
野 津 原 町	—	1	—	1	—	—	—	4
狭 間 町	—	—	—	—	—	—	—	15
庄 内 町	—	1	—	1	—	—	—	18
湯 布 院 町	—	—	—	—	—	—	—	2
佐 賀 関 町	3	1	1	5	—	—	—	—
上 浦 町	—	3	—	3	—	—	—	—
弥 生 町	—	—	—	—	—	—	—	—
本 庄 村	—	—	—	—	—	—	—	—
宇 目 町	—	1	—	1	—	—	—	—

色 低 地 土 壤			グ ラ イ 土				泥 炭 土		計
灰 色 低 地 土 壤	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計	細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	高 位 泥 炭 土 壤	計	
38	31	99	4	6	6	16	17	17	350
1	5	8	—	5	—	5	6	6	125
—	2	13	4	5	9	18	3	3	54
12	14	33	5	6	—	11	—	—	271
12	13	25	—	—	17	17	2	2	197
3	1	5	2	—	1	3	2	2	152
—	—	—	—	—	—	—	—	—	78
12	2	17	—	—	—	—	—	—	200
8	13	25	2	4	—	6	—	—	123
4	3	10	6	—	—	6	2	2	91
24	4	64	8	7	11	26	—	—	178
114	88	299	31	33	44	108	32	32	1,819
5	6	13	2	—	—	2	—	—	46
3	6	9	—	1	2	3	—	—	42
4	2	6	—	—	—	—	—	—	38
2	5	13	1	—	4	5	—	—	73
—	—	—	—	1	—	1	—	—	7
7	8	15	5	7	3	15	1	1	112
5	4	9	4	—	—	4	—	—	41
1	4	9	3	1	—	4	—	—	90
—	1	3	2	—	2	4	—	—	74
6	1	11	1	—	—	1	—	—	144
3	3	10	1	2	—	3	—	—	92
1	1	17	—	1	—	1	—	—	51
4	—	22	—	1	—	1	—	—	139
1	9	12	—	1	1	2	—	—	128
2	3	5	—	—	—	—	—	—	50
—	1	1	—	—	—	—	—	—	16
4	8	12	—	—	1	1	—	—	83
—	1	1	—	—	—	—	—	—	123
10	2	12	3	—	—	3	—	—	266

土 壤 市 町 村	赤 黄 色 土				褐 色 低 地 土 壤			灰
	赤 色 土 壤	黄 色 土 壤	暗 赤 色 土 壤	計	褐 色 低 地 土 壤	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壤
直川村	—	—	—	—	—	—	—	—
鶴見町	—	3	—	3	—	—	—	—
米水津村	—	1	—	1	—	1	1	—
蒲江町	—	1	—	1	—	6	6	—
野津町	—	1	—	1	—	—	—	2
三重町	—	—	—	—	—	—	—	3
清川町	—	1	—	1	—	—	—	4
緒方町	—	—	—	—	—	—	—	6
朝地町	—	1	—	1	—	—	—	7
大野町	—	1	—	1	—	—	—	3
千歳村	—	—	—	—	—	—	—	2
犬飼町	—	1	—	1	—	—	—	1
荻町	—	—	—	—	—	—	—	1
久住町	—	—	—	—	—	—	—	3
直入町	—	—	—	—	—	—	—	1
九重町	—	—	—	—	—	—	—	3
玖珠町	—	—	—	—	—	—	—	8
前津江村	—	—	—	—	—	—	—	—
中津江村	—	—	—	—	—	—	—	1
上津江村	—	2	—	2	—	—	—	—
大山町	—	2	—	2	—	—	—	—
天瀬町	—	—	—	—	—	—	—	1
三光村	—	—	—	—	—	—	—	14
本耶馬溪町	—	1	—	1	—	—	—	—
耶馬溪町	—	3	—	3	—	—	—	—
山国町	—	1	—	1	—	—	—	3
院内町	—	2	—	2	—	—	—	4
安心院町	—	13	—	13	—	—	—	2
郡部計	3	96	1	100	—	7	7	126
合 計	10	187	3	200	—	16	16	223

色 低 地 土 壤			グ ラ イ 土				泥 炭 土		計
灰 色 低 地 土	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計	細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	高 位 泥 炭 土 壤	計	
6	4	10	-	1	-	1	-	-	81
-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
-	1	1	-	-	-	-	-	-	25
-	-	-	-	-	1	1	-	-	92
6	-	8	2	1	1	4	-	-	139
4	-	7	4	1	-	5	-	-	162
1	-	5	-	1	-	1	-	-	47
10	1	17	-	1	-	1	-	-	148
3	-	10	-	-	-	-	-	-	69
6	-	9	-	2	-	2	-	-	109
2	-	4	1	1	-	2	-	-	22
2	1	4	-	1	-	1	-	-	47
-	1	2	-	-	-	-	-	-	50
-	-	3	-	-	-	-	-	-	143
1	2	4	-	-	-	-	-	-	84
2	3	8	-	1	-	1	10	10	272
-	9	17	-	1	-	1	-	-	288
-	1	1	-	-	-	-	-	-	77
1	1	3	-	1	-	1	-	-	84
-	-	-	-	-	-	-	-	-	88
-	6	6	-	-	-	-	-	-	46
-	2	3	-	-	-	-	-	-	101
5	-	19	-	-	-	-	-	-	46
6	5	11	-	-	-	-	-	-	85
9	7	16	-	-	-	-	1	1	185
7	4	14	-	1	-	1	-	-	120
-	11	15	1	3	-	4	-	-	115
10	9	21	6	2	1	9	-	-	145
139	133	398	36	33	16	85	12	12	4,505
253	221	697	67	66	60	193	44	44	6,324

3 - 1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

土地利用可能性分級 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地	計	備考
大分市	35	48	108	98	—	—	—	66	350	
別府市	—	28	52	84	2	—	—	14	125	
中津市	14	11	10	11	—	—	—	8	54	
日田市	13	24	49	177	2	—	—	6	271	
佐伯市	3	7	38	149	—	—	—	5	197	
臼杵市	7	4	28	108	2	—	—	3	152	
津々見市	1	—	3	73	—	—	—	1	78	
竹田市	4	21	92	72	9	—	—	2	200	
豊後高田市	10	14	56	38	0	—	3	2	123	
杵築市	5	20	48	13	1	—	—	4	91	
宇佐市	50	18	40	64	—	—	—	6	178	
市部計	142	190	514	837	16	—	3	117	1,819	
大田村	—	6	36	4	—	—	0	—	46	
真玉町	1	5	23	11	1	—	1	—	42	
香々地町	2	3	21	8	2	—	2	—	38	
国見町	—	10	41	15	3	—	3	1	73	
姫島村	—	—	6	1	—	—	—	—	7	
国東町	0	23	59	27	1	—	—	2	112	
武蔵町	1	5	22	12	—	—	—	1	41	
安岐町	2	8	52	25	1	—	—	2	90	
日出町	2	30	31	9	—	—	—	2	74	
山香町	6	9	89	39	—	—	1	0	144	
野津原町	—	12	20	59	1	—	—	0	92	
挾間町	6	20	19	6	—	—	—	0	51	
庄内町	3	17	34	70	14	—	1	0	139	
湯布院町	—	2	64	57	1	—	1	3	128	
佐賀関町	1	2	18	28	—	—	—	1	50	
上浦町	—	—	—	16	—	—	—	0	16	
弥生町	2	2	12	67	—	—	—	0	83	
本匠村	—	—	2	121	—	—	—	0	123	
宇目町	—	6	29	221	5	—	1	4	266	
直川村	—	3	7	71	—	—	—	0	81	

分級 市町村	1 類地	2 類地	3 類地	4 類地	5 類地	6 類地	7 類地	8 類地	計	備 考
	鶴 見 町	—	—	—	20	—	—	—	0	20
米 水 津 村	—	2	3	20	—	—	—	0	25	
蒲 江 町	1	2	3	85	1	—	—	0	92	
野 津 町	—	17	53	68	—	—	—	1	139	
三 重 町	3	29	18	109	2	—	—	1	162	
清 川 村	—	3	22	22	—	—	—	0	47	
緒 方 町	4	22	41	46	34	—	1	0	148	
朝 地 町	—	3	23	42	1	—	—	0	69	
大 野 町	1	25	38	44	—	—	—	1	109	
千 歳 町	2	14	6	—	—	—	—	0	22	
犬 飼 町	—	9	18	19	—	—	—	1	47	
荻 町	—	8	32	10	—	—	—	0	50	
久 住 町	—	—	82	34	24	—	2	1	143	
直 入 町	—	—	23	59	0	—	—	2	84	
九 重 町	—	3	143	103	20	—	3	0	272	
玖 珠 町	3	10	154	116	1	—	2	2	288	
前 津 江 村	—	0	2	75	—	—	—	—	77	
中 津 江 村	—	1	11	69	—	—	—	3	84	
上 津 江 村	—	1	19	67	—	—	—	1	88	
大 山 町	—	2	5	37	2	—	—	—	46	
天 瀬 町	1	19	50	31	—	—	—	—	101	
三 光 村	5	12	10	19	—	—	—	—	46	
本 耶 馬 溪 町	0	4	8	73	—	—	—	—	85	
耶 馬 溪 町	—	0	13	163	3	—	6	—	185	
山 国 町	—	—	6	112	1	—	1	—	120	
院 内 町	—	4	39	72	—	—	—	—	115	
安 心 院 町	1	9	80	54	—	—	—	1	145	
郡 部 計	47	362	1,487	2,436	118	—	25	30	4,505	
合 計	189	552	2,001	3,273	134	—	28	147	6,324	

### 3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

#### 3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

土地利用可能性分級 地形区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
山 地 火 山 地	7	170	1,400	2,932
丘 陵 地	2	101	168	61
台 地、段 丘	29	97	102	11
低 地	151	184	331	269
合 計	189	552	2,001	3,273

#### 3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

土地利用可能性分級 傾斜区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
0° ~ 3° ( S1 )	189	115	193	33
3° ~ 8° ( S2 )	—	437	595	66
8° ~ 15° ( S3 )	—	—	1,213	163
15° ~ 30° ( S4 )	—	—	—	3,011
30° ~ 40° ( S5 )	—	—	—	—
40° ~ ( S6 )	—	—	—	—
合 計	189	552	2,001	3,273



5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	合 計	備 考
134	—	26	20	4,689	
0	—	0	0	332	
0	—	0	10	249	
0	—	2	117	1,054	
134	—	28	147	6,324	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	合 計	備 考
—	—	—	108	638	
—	—	—	22	1,120	
8	—	1	11	1,391	
58	—	18	6	3,088	
78	—	4	—	82	
—	—	5	—	5	
134	—	28	147	6,324	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

土地利用可能性分級 標高区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
低 暖 地 帯 (H 1)	189	532	1340	1828
山 間 地 帯 (H 2)	—	20	559	1,219
高 冷 地 帯 (H 3)	—	—	102	226
生産限界外地帯 (H 4)	—	—	—	—
合 計	189	552	2,001	3,273

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

土地利用可能性分級 土壌 生産可能性等級区分	1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
はなはだよい (P 1)	189	202	342	1,138
ややよい (P 2)	—	350	717	592
ややおとる (P 3)	—	—	942	1,259
おとる (P 4)	—	—	—	284
はなはだおとる (P 5)	—	—	—	—
合 計	189	552	2,001	3,273

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	合 計	備 考
12	—	14	147	4,062	
19	—	6	—	1,823	
95	—	5	—	428	
8	—	3	—	11	
134	—	28	147	6,324	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	合 計	備 考
42	—	6	0	1,919	
28	—	2	0	1,689	
64	—	3	0	2,268	
0	—	4	0	288	
0	—	13	147	160	
134	—	28	147	6,324	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

地域名(団地名)		土地利用可能性分級			
		1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
地域名(団地名)		北部平坦	大野川上中流	久住徳田	日 田
地形	傾 斜 (谷密度)	S <sub>1</sub> (0~3°) 0	S <sub>2</sub> (3~8°)	S <sub>2</sub> ~S <sub>3</sub> (8~30°)	S <sub>4</sub> (15~30°)
	標 高 (植裁限界)	0~20	50~400	100~1,000	100~1,000
表層地質 岩石の種類 岩石のかたさ 時 代		未固結堆積物 (泥) 第 四 紀 世 第 洪 積 世	熔結凝灰岩 中 第 四 紀 世 第 洪 積 世	熔結凝灰岩 火山碎屑物 中 第 四 紀 世 第 洪 積 世	安 山 岩 硬 第 四 紀 世 第 洪 積 世
土 壤	農 田	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級	灰色低地 土 壤 I	灰色低地 土 壤 I	多湿黒ボク 土 壤 II
		畑	—	黒ボク土壌 厚層黒ボク土壌 II	黒ボク土壌 II
	草 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 分 級	—	黒ボク土壌 II	黒ボク土壌 厚層黒ボク土壌 II
	林 地	土 壤 統 群 地 位 級	—	黒ボク土壌 II	黒ボク土壌 厚層黒ボク土壌 II
水 利 用	地 表 水	○	○	○	○
	地 下 水	○	○	○	△
	天 水	×	×	×	×
気 候 区 分		日 本 海	山 地	山 地	山 地
面 積	土地利用可能性類地 別面積県内合計(A)	189	552	2001	3273
	当該地域の類地別面 積県内合計(B)	38	89	101	267
	% (B/A)	20%	16%	5%	8%

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	備 考
南 部	—	国 東		○ 利 用 △ 若干利用 × 利用せず  6 3 2 4 Km <sup>2</sup> 5 4 7 Km <sup>2</sup> 8.7 %
S5 (30~40°)	—	S8~S5 (8~40°)		
100~1,000		200~400		
安 山 岩 斑 岩 硬 新 第 三 紀		集 塊 岩 中 第 四 紀 世 洪 積		
褐色森林土壤 乾性褐色森林土壤 Ⅲ		岩 石 地 V		
○		○		
△		△		
×		×		
山 地		内 海		
1 3 4		2 8	1 4 7	
4 9		8		
3 7 %		1 0 %		

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
土地利用占有率					主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
大分市	I	1-1.1	35	A	103				
		計	35						
	II	1-1.2	18	B		C	95		
		1-2.1	20	D					
		1-2.2	10			B			
	III	計	48						
		1-1.3	32			C		C	98
		1-2.3	31			D			
		1-3.1	4						
		1-3.2	5	D		D			
		1-3.3	30	D		D			
		2-3.2	1						
		計	103						
	IV	1-3.4	8						
		1-2.4	4						
		1-4.1	12	D					
		1-4.2	18			D			
		1-4.3	36	D					
		1-4.4	7						
	2-4.2	5							
	2-4.3	6							
	2-4.4	2							
	計	98							
別府市	II	1-2.1	3	A	95				
		1-2.2	20	D					
		計	23						
	III	1-1.3	7	D		D	110		
		1-2.3	9	D					
		1-3.3	4			D			
		2-2.2	17			D			

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率		
							大分地区新産業都
		B B		C			
		C C B C B C		C C C C B			
		C A D B B A A A A		B D B C D D D D			8 類地 6 6
C				D B			大分地区新産業都 市
D C B B		C B C D		D		D	国東用水事業

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の					
			水 田		普 通 畑			
	類地区分及び包 含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑		樹 園 地	
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率
	2-3.2	15						
	計	52						
	Ⅳ 1-4.3	5			D			
	2-2.3	3						
	2-3.3	6						
	2-4.2	3						
	2-4.3	17						
	計	34						
	Ⅴ 3-4.3	1						
	3-5.3	1						
計	2							
中 津 市	Ⅰ 1-1.1	14	A	110				
	計	14						
	Ⅱ 1-1.2	6	A				D	ブドウ 100
	1-2.1	4	A					
	1-2.2	1	A					
	計	11						
	Ⅲ 1-1.3	6	D				B	
	1-2.3	1					B	
	1-3.3	3					D	
	計	10						
Ⅳ 1-1.4	9	A				D		
1-2.4	2			B	110	D		
計	11							
日 田 市	Ⅰ 1-1.1	13	A	115	D	96		
	計	13						
	Ⅱ 1-2.2	9	C					
	1-2.2	15			D			
計	24							



現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
B		C					8 類地 1 4
D B D		B A C B		C  D		B	
				A A			
							周防灘臨海工業地帯
		C A					
		D					
							8 類地 8
		B A					
							久住飯田広域農業 開発地域 筑後川上流水資源 開発地域

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用	平均収	普通畑		樹園地		
			占有率	穫量率	土地利用	主要作物及び平均	土地利用	主要樹種及び平均	
		占有率	穫量率	占有率	収穫量率	占有率	収穫量率		
日田市	Ⅲ	1-1.3	7	C		C			
		1-2.3	3			A			
		1-3.1	20	D		D			
		1-3.2	12	D		D		D	なし <sub>95</sub>
		1-3.3	7	D		D			
		計	49						
	Ⅳ	1-4.1	75	D					
		1-4.2	17						
		1-4.3	14					D	
		2-3.3	6						
		2-4.1	25						
		2-4.2	24						
		2-4.3	16						
		計	177						
	Ⅴ	2-5.1	2						
計		2							
佐伯市	Ⅰ	1-1.1	3	A	90				
		計	3						
	Ⅱ	1-1.2	3	A					
		1-2.1	2	A					
		1-2.3	1	B					
		1-2.4	1	A					
		計	7						
	Ⅲ	1-1.3	3	A					
		1-2.3	6	A					
		1-3.1	7	A					
		1-3.2	3	D					
		1-3.3	14						
		計	33						
	Ⅳ	1-1.4	6	B		C	90		

現 況							備 考	
草 地		林 地				空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率		
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率			
		D D B B B		D D D			8 類地 6	
D D D D		B A B A A A		D D D D D				
		A						
		D B						資源管理漁場造成 海域 日豊海岸観光地域
		D D A B		D				

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包 含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	
佐 伯 市	Ⅳ	1-3.4	3	A		D			
		1-4.1	34						
		1-4.3	72	D		D			
		1-4.4	11	D		D		D	110
		2-4.1	1						
		2-4.3	22			D			
		計	149						
旧 杵 市	Ⅰ	1-1.1	7	A	80				
		計	7						
	Ⅱ	1-2.1	4						
		計	4						
	Ⅲ	1-1.3	5	A					
		1-2.3	7	D			88		
		1-3.1	8			D			
		1-3.3	8					D	
		計	28						
	Ⅳ	1-1.4	4	D					
		1-2.4	12	D			D		
		1-3.4	17						
		1-4.1	28						
		1-4.3	19					D	
1-4.4		20					D		
2-4.3		7							
計		108							
Ⅴ	2-4.4	2							
	計	2							
	Ⅰ	1-1.1	1					A	110
		計	1						
	Ⅲ	1-3.3	3					A	

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
		B B  D		C C B A A			8類地5
							8類地3
		A					
		D B A A		D D D			
		A A A A A A A		D D D D			
		A					
							資源管理漁場造成 海域

市町 村名	類地区分		土地利 用 の					
			水 田		畑			
	類地区分及び包 含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普 通 畑		樹 園 地	
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率
津 久 見 市	計	3						
	Ⅳ	1-1.4	2					
		1-3.4	3					
		1-4.1	6			D	58	D
		1-4.3	31			D		D
		1-4.4	20					D
		2-4.1	2					
		2-4.3	9					D
		計	73					
竹 田 市	Ⅰ	1-1.1	4	A	102			
		計	4					
	Ⅱ	1-2.1	12	A				
		1-2.1	2	A				
		1-2.2	7	B				
		計	21					
	Ⅲ	1-2.3	20	D				
		1-3.1	8	A				
		1-3.2	11			D	95	
		1-3.3	19	C				
		2-2.1	1	A				
		2-2.2	23	D		C		
		2-3.1	4					
2-3.2		6						
計	92							
Ⅳ	1-4.1	4						
	1-4.2	1						
	1-4.3	7	D					
	2-2.3	5						
	2-3.3	23			D			
	2-4.1	16						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
							日豊海岸観光地域  8 類地 1.
		A					
D		A		D			
D		A		D			
D		B		D			
		D					大野川上中流農業 開発地域 久住飯田広域農業 開発地域 祖母. 椎葉. 五木 山地特定森林大規 模開発地域
		D		D			
		D		D			
		D		D			
D		C		D			
D		D		D			
		C		D			
D		B		D			
D		D					
C		C		D			
		A					
		A		D			
		C		D			
		A					
		C		D			
		A		D			

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
竹田市	Ⅳ	2-4.2	4						
		2-4.3	12						
		計	72						
	Ⅴ	2-5.1	2						
		3-4.1	1						
		3-4.3	3						
		3-5.1	2						
		3-5.3	1						
		計	9						
	豊後高田市	Ⅰ	1-1.1	10	A	105			
計			10						
Ⅱ		1-1.2	5	C					
		1-2.1	8	A		C	93		
		1-2.3	1						
計		14							
Ⅲ		1-1.3	11	D		A	73		
		1-2.3	22			D		C	
		1-3.1	5	B					
		1-3.3	18						
		計	56						
Ⅳ		1-1.4	6			A			
		1-2.4	12	D				D	
		1-3.4	3						
		1-4.1	3						
		1-4.3	5	D					
	1-4.4	4			D				
	1-4.3	5							
	計	38							
Ⅶ	1-3.5	1							
	1-4.5	1							



現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林 土地利用 占有率	主 要 樹 種 及 び 平 均 収 穫 量 率	天 然 林 土地利用 占有率	主 要 樹 種 及 び 平 均 収 穫 量 率	土地利用 占有率	
		A D		D A			8 類地 2
		B		C A A A A			
							周防灘臨海工業地帯 国東半島オレンジベルト開発地域 国東用水事業
		D		D			
		D D D A		D D D D			
		A  A A A C		D A D D D B			
		A C		D B			

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
	Ⅶ	2-4.5	1						
		計	3						
杵築市	I	1-1.1	5	A	84				
		計	5						
	Ⅱ	1-2.1	3	A					
		1-2.2	16	C				B	130
		1-2.3	1						
		計	20						
	Ⅲ	1-1.3	9	D				A	
		1-2.3	17			D		D	
		1-3.2	2	C		C		C	
		1-3.3	20	D					
		計	48						
	Ⅳ	1-1.4	3	D					
		1-4.1	1						
		1-4.2	2						
1-4.3		7					D		
計		13							
V	1-5.3	1					D		
	計	1							
宇佐市	I	1-1.1	50	A	105	D	90		
		計	50						
	Ⅱ	1-1.2	11	A					
		1-2.1	5	A			D		
		1-2.2	2	A					
		計	18						
	Ⅲ	1-1.3	17				B	B	ブドウ147
		1-2.3	4	C			C	C	
1-3.1		9	A						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
		A					8類地 2
							大分地区新産業都 市 国東半島オレンジ ベルト開発地域 国東用水事業
		A					
		C		D			
		B		D			
		A D A C		A  D			
				A			8類地 4
							周防灘臨海工業地 帯 駅館川農業開発地 域
		D D					

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
宇佐市	Ⅲ	1-33	10	D		D		D	
		計	40						
	Ⅳ	1-14	10	A					
		1-24	8			D		B	
		1-34	12					D	
		1-41	10						
		1-43	20			D			
1-44		4			B				
	計	64							
大田村	Ⅱ	1-21	6	A	88				
		計	6						
	Ⅲ	1-23	21	D				D	60 108
		1-31	4	C					
		1-33	11	D					
		計	36						
	Ⅳ	1-41	1	A					
		1-43	1						
		2-23	1						
		2-43	1						
	計	4							
真玉町	Ⅰ	1-11	1	C	91	B	そさい 82		
		計	1						
	Ⅱ	1-12	2	A					
		1-21	3	A			D		
		計	5						
	Ⅲ	1-13	5	D			A		
		1-23	6	D			D	B	60
1-31		2	D						
1-33		10	D			A			

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率		
		D		D			8 類地 6
		D D A A C B		D D B			
		D					国東用水事業
		C B A		B D			周防灘臨海工業地 帯 国東半島オレンジ ベルト開発地域 国東用水事業
		A A D		D D A			
		A		D D D			

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用穫量率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹主及び平均収穫量率	
真玉町	Ⅲ	計	23						
	Ⅳ	1-1.4	1	A					
		1-2.4	1			A		D	
		1-3.4	2			A			
		1-4.1	3	D					
		1-4.3	4	D					
		計	11						
	Ⅴ	1-5.1	1						
		計	1						
	Ⅶ	1-6.3	1						
計		1							
香々地町	Ⅰ	1-1.1	2	A	90	D	78		
		計	2						
	Ⅱ	1-2.1	3	D		B			
		計	3						
		1-1.3	8			A			
		1-2.3	7			B		D	
		1-3.3	6	D				B	
		計	21					67	
	Ⅳ	1-4.1	5						
		1-4.3	3	D					
計		8							
Ⅴ	1-5.1	2							
	計	2							
Ⅶ	1-4.5	2							
	計	2							
国見町	Ⅱ	1-2.1	10	A	88				
		計	10						
	Ⅲ	1-1.3	6	D		D	78	B	
								68	

現 況							備 考	
草 地		林 地				空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率		
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率			
		D B B		D C C				
				A				
				A				
								周防灘臨海工業地帯 国東半島オレンジベルト開発地域 国東用水事業
		D						
		D D D		D D D				
		A A		D D				
		A		D				
				A				
							国東半島オレンジベルト開発地域 国東用水事業	
		D						

市町村名	類 地 区 分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
国見町	Ⅲ	1-23	19					A	
		1-31	2						
		1-33	14	B				D	
		計	41						
	Ⅳ	1-14	1					A	
		1-24	2	B				C	
		1-41	3						
		1-43	9			D			
	計	15							
	Ⅴ	1-51	3						
		計	3						
	Ⅶ	1-45	3						
		計	3						
姫島村	Ⅲ	1-13	1	D	78	D	75		
		1-23	3	D		D			
		1-33	2						
	計	6							
	Ⅳ	1-14	1	A					
計	1								
国東町	Ⅱ	1-12	4	A	90				
		1-21	9	A					
		1-22	10	A					
		計	23						
	Ⅲ	1-13	7	D		D	76		
		1-23	22	D		D		C	65
		1-31	8	D					
		1-32	2	C		D		D	
		1-33	20	D		D			
計	59								



現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率		
		A D		D D D			8 類地 1
		D A		A D			
		C		B			
				A			
		A A A		D D D			
							国島半島オレンジ ベルト開発地域 浅海養殖大規模漁 場開発海域 国東用水事業
		C A D		A D D C D			

市町村名	類 地 区 分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主量作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
国東町	Ⅳ	1-4.1	8	C		D			
		1-4.2	1	A					
		1-4.3	14			D		D	
		2-4.3	4						
		計	27						
武蔵町	Ⅰ	1-1.1	1	A	92				
		計	1						
	Ⅱ	1-1.2	2	A					
		1-2.1	3	A				D	65
	計	5							
	Ⅲ	1-1.3	3	C				C	
		1-2.3	3					C	
		1-3.1	1	A					
		1-3.3	15	D				D	
	計	22							
Ⅳ	1-4.3	12	C				C		
	計	12							
安岐町	Ⅰ	1-1.1	2	A	95				
		計	2						
	Ⅱ	1-1.2	4	D		D	83	B	100
		1-2.1	2	A					
		1-2.2	2	B				B	
	計	8							
	Ⅳ	1-2.3	20	D				D	
		1-1.3	8	D		D		D	
		1-3.1	2	A					
		1-3.3	22	D		D		C	
計	52								
	1-4.2	1	B				B		

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
		C		D			8 類地 2
		C		C			
		A		D			
							国東半島オレンジ ベルト開発地域 浅海養殖大規模漁 場開発海域 国東用水事業
		B					
		C		C			
		C		C			
		B					
							8 類地 1
							国東半島オレンジ ベルト開発地域 国東用水事業
		D		D			
		D		D			
		C		D			

市町村名	類 地 区 分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用	平 均 収 穫 量 率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
安岐町	Ⅳ	1-4.3	18	D				C	
		2-2.3	3						
		2-4.3	3						
		計	25						
	Ⅴ	1-5.3	1	A					
計	1								
日出町	Ⅰ	1-1.1	2	A	84				
		計	2						
	Ⅱ	1-1.2	5	C		C	114	C	115
		1-2.1	3	A					
		1-2.2	22	D		D		B	
		計	30						
	Ⅲ	1-2.3	9	D		D		C	
		1-3.1	1						
		1-3.2	6						
		1-3.3	10						
		2-2.2	1						
		2-3.2	4						
	計	31							
	Ⅳ	1-1.4	2	C		C			
		1-2.4	1	A					
1-4.3		1							
2-2.3		4							
2-4.3		1							
計		9							
山香町	Ⅰ	1-1.1	6	A	88				
		計	6						
	Ⅱ	1-2.1	9	B					
計	9								

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人工林 土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	天然林 土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	占有率	
		B B B		C C C			8類地2
		D					
							国東半島オレンジ ベルト開発地域
				D D			大分地区新産業都 市 国東用水事業
		C C C B A		D B D			
A A A				D D D			8類地2
							国東用水事業
		C					

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
山香町	Ⅲ	1-1.3	3					D	100
		1-2.3	28	D		D	87	D	
		1-3.1	24	B					
		1-3.2	6						
		1-3.3	28	D				D	
		計	89						
	Ⅳ	1-4.1	11						
		1-4.3	21	D					
		1-4.4	3						
		2-4.3	4						
		計	39						
	Ⅶ	1-4.5	1						
		計	1						
野津原町	Ⅱ	1-2.1	3	A	104				
		1-2.2	9	D		D	94		
		計	12						
	Ⅲ	1-1.3	1	A					
		1-3.1	3	A		D			
		1-3.2	8			D			
		1-3.3	2	D					
		2-3.2	6	D		D			
		計	20						
	Ⅳ	1-4.1	10	D					
		1-4.2	21	C		D			
		2-4.2	20			D			
		2-4.3	8						
		計	59						
	Ⅴ	1-5.2	1						
		計	1						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
B D		A		D			
		C		D			
		C		D			
		D		D			
		C		D			
		A		C			
		A		D			
		A		D			
		A		D			
		A		D			
		C		D			大分地区新産業都 市
		D		D			
		A		D			
		A		D			
		B		D			
		B		D			
		C		C			
		B		C			
		C		B			
		B		B			

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
挾間町	I	1-1.1	6	A	105				
		計	6						
	II	1-1.2	7	A					
		1-2.1	9	A					
		1-2.2	2						
		2-2.1	2						
		計	20						
	III	1-2.3	8						
		1-3.1	3	D					
		1-3.2	2	B					
		1-3.3	6	D					
		計	19						
	IV	1-4.1	1	A					
		1-4.2	1						
		1-4.3	4	D					
		計	6						
庄内町	I	1-1.1	3	A	105				
		計	3						
	II	1-1.2	3	A					
		1-2.1	12	A					
		1-2.2	2	B					
		計	17						
	III	1-1.3	4	B	105	D	83		
		1-2.3	3	C		C			
		1-3.1	5	B					
		1-3.2	4	B					
1-3.3		2	A						
2-2.2		5			D	87			
2-3.2		11							
計		34							



現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
							大分地区新産業都市
		A A					
		C A C A		B  C D			
		D  B		A C			
							大分地区新産業都市 久住飯田広域農業 開発地域
		D D C					
B		C C  C D A C		C  D D			

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
庄内町	Ⅳ	1-4.1	3	D				B	なし 102
		1-4.3	8						
		2-3.3	3						
		2-4.2	31						
		2-4.3	25						
		計	70						
	Ⅴ	2-5.2	2					C	
		2-5.3	8						
		3-4.3	2						
		3-5.3	2						
	計	14							
Ⅶ	2-6.3	1							
計	1								
湯布院町	Ⅱ	2-1.1	2	A	104	D	100		
		計	2						
	Ⅲ	2-1.2	6			D			
		2-2.2	28						
		2-3.2	30						
		計	64						
	Ⅳ	2-1.3	3	D					
		2-3.3	12						
		2-4.2	16						
		2-4.3	26						
	計	57							
Ⅴ	3-5.3	1							
計	1								
Ⅶ	2-4.5	1							
計	1								

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
		B		B			
		B		B			
		A		D			
		D		C			
		D					
		B					
		C		C			
		B		C			
				A			
		C		B			
							久住飯田広域農業 開発地域
A		D					
A		D		D			
A		D		D			
B		A					
B		C		C			
B		C		D			
		D					
				A			
				A			8類地3

市町村名	類地区分		土地利 用 ①							
			水 田		畑					
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地			
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
佐賀関町	I	1-1.1	1	A	90					
		計	1							
	II	1-2.1	2	A						
		計	2							
	III	1-1.3	2	A						
		1-2.3	2			B	90			
		1-3.1	3	B						
		1-3.3	11			C		C	100	
		計	18							
	IV	1-2.4	4	D						
1-3.4		6					D			
1-4.3		5								
1-4.4		13			D					
	計	28								
上浦町	IV	1-4.1	2					C	128	
		1-4.3	6			A	68	D		
		1-4.4	7					D		
		2-4.3	1							
	計	16								
弥生町	I	1-1.1	2	A	85					
		計	2							
	II	1-2.1	2			B	89			
		計	2							
	III	1-2.3	1							
		1-3.1	3	C						
		1-3.2	1							
		1-3.3	7	D						
		計	12							
	IV	1-4.1	40	D						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
							大分地区新産業都市     8類地1  資源管理漁場造成 海域 日豊海岸観光地域
		C C D		D			
		B A A B		D D D			
		B  B		C A			
		C					
		A B A A		B			
		A		D			

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
弥生町	Ⅳ	1-4.3	16						
		2-4.1	1						
		2-4.3	10						
		計	67						
本匠村	Ⅲ	1-3.1	1						
		2-3.1	1						
		計	2						
	Ⅳ	1-4.1	62						
		1-4.3	16						
		2-4.1	15						
	2-4.3	28							
	計	121							
宇目町	Ⅱ	1-2.1	5	C	88	C	78		
		2-2.1	1						
		計	6						
	Ⅲ	1-2.3	1	A					
		1-3.1	20	D					
		1-3.3	6	D					
		2-3.1	2						
		計	29						
	Ⅳ	1-4.1	112	D					
		1-4.3	25	D					
		2-4.1	28						
		2-4.3	56						
		計	221						
	Ⅴ	3-4.1	3						
	2-5.1	2							
	計	5							
Ⅶ	2-6.3	1							
	計	1							

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
		A		D			祖母。椎葉。五木 山地特定森林大規模開発地域
		B		D			
				A			
				C			
D		A					
		B		C			
D		A		D			
D		D		A			
D		D		B			
D		C		B			
		C		D			祖母。椎葉。五木 山地特定森林大規模開発地域
		A		D			
		B		C			
		B		C			
		B		C			
		A		D			
		B		C			
		B		C			
		C		B			
				A			
				A			
				A			8 類地 4

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
直川村	Ⅱ	1-2.1	3	4	84				
		計	3						
	Ⅲ	1-2.3	1	A					
		1-3.1	2	B					
		1-3.3	4	B					
		計	7						
	Ⅳ	1-4.1	53	D					
1-4.3		18	D						
計		71							
鶴見町	Ⅳ	1-3.4	2	C	84		C	102	
		1-4.3	7						
	1-4.4	11	D	B	70	C			
	計	20							
米水津村	Ⅱ	1-2.1	2			C	69	C	119
		計	2						
	Ⅲ	1-3.3	3						
		計	3						
	Ⅳ	1-4.3	9					D	
1-4.4		10			D				
2-4.3		1							
計	20								
浦江町	Ⅰ	1-1.1	1					B	68
		計	1						
	Ⅱ	1-2.2	2					B	
		計	2						
	Ⅲ	1-3.1	2					A	
1-3.3		1							
計	3								



現 地							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地利用 類及び平 均収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
		D					祖母. 椎葉. 五木 山地特定森林大規 模開発地域
		D C C					
		B A		C D			
		C B		C			資源管理漁場造成 海域 日豊海岸観光地域
		C		C			日豊海岸観光地域
		A		D			
		A A D		D D A			
		B					日豊海岸観光地域
		C					
		A		D			

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
浦江町	IV	1-2.4	1						
		1-3.4	1						
		1-4.1	12					D	
		1-4.3	45					D	
		1-4.4	22						
		2-4.3	4						
		計	85						
	V	1-5.4	1						
		計	1						
野津町	II	1-2.1	8	A	85				
		1-2.2	9	B					
		計	17						
	III	1-2.3	22			D	88		
		1-3.1	9	D	85				
		1-3.2	1						
		1-3.3	21						
		計	53						
	IV	1-4.1	40						
		1-4.3	12						
		2-4.1	3						
		2-4.3	13						
計		68							
三重町	I	1-1.1	3	A	85				
		計	3						
	II	1-1.2	12			C	88		
		1-2.1	2	A					
		1-2.	15	D		D			
		計	29						
	III	1-1.3	2			C		C	82

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 収穫量率		
		D D B B C D		A A C C B A			
				D			
		D C		D D			大野川上中流農業 開発地域
A D		B C B		C B C			
D D		B B A		C C C C			
							大野川上中流農業 開発地域
C B		C D			D		
C							

市町 村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包 含される示形式	面 積	土地利用 占有率	平均率 穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 穫量率	
三 重 町	Ⅲ	1-2.3	6	D					
		1-3.1	3						
		1-3.2	6	D		D			
		1-3.3	1						
		計	18						
	Ⅳ	1-4.1	38				D		
		1-4.2	3						
		1-4.3	25	D					
		2-4.1	28						
		2-4.3	15						
	計	109							
	Ⅴ	2-4.3	2						
計		2							
清 川 村	Ⅱ	1-2.1	3	B	99				
		計	3						
	Ⅲ	1-2.3	4						
		1-3.1	7	A					
		1-3.2	5	D		B	87		
		1-3.3	6						
	計	22							
	Ⅳ	1-4.1	10						
		1-4.3	4						
		2-4.1	2						
		2-4.3	6						
	計	22							
緒 方 町	Ⅰ	1-1.1	4	A	103				
		計	4						
	Ⅱ	1-2.1	14	B					
		1-2.2	8			B	88		
計	22								

現 況							備 考	
草 地		林 地				空地その他		
土地利用 占有率	草地利用 類及び平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率		
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率			
C		B		D			8 類地 1	
D		A A B		C				
		A A A B B		D D C C				
				A				
		C						大野川上中流農業 開発地域
		B D C A		C				祖母。椎葉。五木 山地特定森林大規 模開発地域
D		A A B B		D D C C				
								大野川上中流農業 開発地域
		C D		C				久住飯田広域農業 開発地域

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
緒方町	Ⅲ	1-1.3	6	D					
		1-2.3	11	D					
		1-3.1	14	B					
		1-3.2	2						
		1-3.3	8			D			
		計	41						
	Ⅳ	1-4.1	12						
		1-4.3	1						
		2-4.1	21						
		2-4.3	12						
	計	46							
	Ⅴ	2-5.1	33						
		2-5.3	1						
		計	34						
	Ⅶ	2-6.1	1						
計		1							
朝地町	Ⅱ	1-2.1	3	A	95				
		計	3						
	Ⅲ	1-2.3	6	D					
		1-3.1	4	A					
		1-3.2	2						
		1-3.3	3						
		2-3.2	8	D					
	計	23							
	Ⅳ	1-4.1	5	A					
		1-4.2	3				C	91	
		1-4.3	13				D		
		2-4.3	3						
		2-4.4	18						
		計	42						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量 率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量 率		
D D		B A D A B		C D  C			大野川上中流農業 開発地域 久住飯田広域農業 開発地域
		A D B A		D A C D			
		B A		C			
		B  D		C  D			
D		B  C A B		D  B  D			
		C A A A		C  C  D			

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平 均 収 穫 量 里	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	
朝地町 大野町	V	2-4.3	1						
		計	1						
	I	1-1.1	1	A	88				
		計	1						
	II	1-1.2	2			C	87		
		1-2.1	3	A					
		1-2.2	20	D		B			
		計	25						
	III	1-3.1	6	D					
		1-3.2	14	D		C			
		1-3.3	15						
		2-3.2	3						
		計	38						
	IV	1-4.1	4	B					
		1-4.2	11			D			
		1-4.3	9						
2-3.3		2							
2-4.2		8			D				
計		44	D						
千歳村	I	1-1.1	2	A	96				
		計	2						
	II	1-1.2	2	A		D	88		
		計	14	B		C			
	III	1-3.1	4			D			
		1-3.2	1	D					
計		6							



現 況							備 考	
草 地		林 地				空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率		
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率			
				A			大野川上中流農業 開発地域	
		B						
		D		D				
D		B B B B		C D C C				
		C A A B B A		D D C C D				
								大野川上中流農業 開発地域
		B  C		C A B				

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包 含される示性式	面積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	
犬飼村	Ⅱ	1-1.2	2	D	93	C	88		
		1-2.2	7			D			
		計	9						
	Ⅲ	1-2.3	1			B			
		1-3.1	2			D			
		1-3.2	11						
		1-3.3	4						
		計	18						
	Ⅳ	1-4.1	3			D D			
		1-4.2	9						
		1-4.3	4						
		2-4.3	3						
		計	19						
荻町	Ⅱ	1-2.2	8	D	105				
		計	8						
	Ⅲ	1-2.3	1	B B C		A C C	95		
		1-3.2	2						
		1-3.3	3						
		2-1.2	19						
		2-2.2	3						
		2-3.2	4						
		計	32						
	Ⅳ	1-4.1	1	D		D			
		2-2.3	5						
		2-3.3	2						
		2-4.2	2						
計		10							
Ⅲ	2-1.2	8	D	107					
	2-2.2	39							

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
		B		B D			大野川上中流農業 開発地域 大分地区新産業都 市
		A B B		C  C C			
C		B A C		C  B			
		B		D			久住飯田広域農業 開発地域
		B A D D B		C D			
		B A B A		C  C			
		A B		D C			

市町村名	類地区分		土地利用の							
			水田		畑					
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地			
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
久住町	Ⅲ	2-3 1	1	A						
		2-3 2	34	D		D	100			
		計	82							
	Ⅳ	2-2 3	6							
		2-4 2	25							
		2-4 3	3							
	計	34								
	Ⅴ	3-4 2	9							
		3-4 3	10							
		3-5 3	5							
計	24									
Ⅶ	3-5 5	2								
	計	2								
直入町	Ⅲ	1-3 2	3							
		2-3 2	20	C	102					
		計	23							
	Ⅳ	1-4 2	5	D						
		2-4 2	48	C						
2-4 3		6								
計	59									
九重町	Ⅱ	1-1 2	1	A	111					
		1-2 1	1	B		C	128			
		2-2 1	1	A						
		計	3							
	Ⅲ	1-3 1	6	B			C			
		1-3 3	5	A						
		2-1 2	6	D						
		2-2 2	55	D			D			
		2-3 2	71	D			D			
		計	143							

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
D		C		D			8 類地 1
A A D		D D		A			
				A A A			
				A			
B		C		B D		D	久住飯田広域農業 開発地域
B		D D C		B D B		D	8 類地 2
							久住飯田広域農業 開発地域 筑後川上流水資源 開発地域
C C		A C C		D D D			

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
九重町	Ⅳ	2-1.3	2	A					
		2-2.3	14			D			
		2-3.3	12	D		D			
		2-4.2	48						
		2-4.3	27	D					
		計	103						
	Ⅴ	2-5.3	2						
		3-4.2	9						
		3-4.3	5						
		3-5.2	4						
		計	20						
	Ⅶ	2-4.5	2						
		3-5.5	1						
	計	3							
玖珠町	Ⅰ	1-1.1	3	A	115				
		計	3						
	Ⅱ	1-1.2	2	A					
		1-2.1	5	A					
		1-2.2	3	B					
		計	10						
	Ⅲ	1-1.3	2	A					
		1-2.3	3	A					
		1-3.1	2	A					
		1-3.2	16	C		C	129		
		1-3.3	2	D					
		2-1.2	9						
		2-2.2	31						
		2-3.2	89	D					
	計	154							
Ⅳ	1-4.1	1	A						

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
A C C D		D B C B		D D			久住飯田広域農業 開発地域 筑後川上流水資源 開発地域
D D D		A B D		C A A			
D		A		D A			
		C					
D D		B B B B		D D D		A C D	

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普通畑	樹 園 地		主要樹種 及び平均 収穫量率	
土地利用 占有率			主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率				
玖 珠 町	Ⅳ	1-4.2	16			D			
		1-4.3	6			D			
		1-4.5	1						
		2-2.3	6						
		2-3.3	24						
		2-4.2	28			D			
		2-4.3	34						
		計	116						
	Ⅴ	2-5.3	1						
		計	1						
Ⅶ	2-4.5	2							
	計	2							
前 津 江 村	Ⅲ	2-3.1	1						
		2-3.2	1						
		計	2						
	Ⅳ	1-4.1	3						
		2-4.1	53	D	88				
		2-4.2	16						
		2-4.3	3						
計	75								
中 津 江 村	Ⅱ	2-2.1	1						
		計	1						
	Ⅲ	1-3.1	2						
		2-3.1	9	D	86				
		計	11						
	Ⅳ	1-4.1	7						
2-4.1		50	D		D	51			
2-4.2		12							
計	69								



現 況							備 考	
草 地		林 地				空地その他		
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫料率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率		
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率			
D		B		D			8 類地 2	
		A						
		A		D				
D		A		D				
D		B		D				
D		A		D				
				A				
		B		C				
		A						筑後川上流林業開発地域 筑後川上流水資源開発地域
		A						
		A		D			筑後川上流林業開発地域 筑後川上流水資源開発地域	
		A		C				
		B					筑後川上流林業開発地域 筑後川上流水資源開発地域	
		A		C				
		A					8 類地 3	
		A		D				
		A		D				

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収占有率	普 通 畑 樹 園 地				
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
上津江村	Ⅱ	2-2.1	1						
		計	1						
	Ⅲ	2-2.2	2						
		2-3.1	10						
		2-3.2	7						
		計	19						
	Ⅳ	1-4.1	8			D	48		
		2-3.3	4			D			
		2-4.1	35	D	81				
		2-4.2	15	D					
2-4.3		10	D		D				
計		67							
大山町	Ⅱ	1-2.2	2						
		計	2						
	Ⅲ	1-3.2	5	D	108	D	88		
		計	5						
	Ⅳ	1-4.1	18			D		くり D	100
		1-4.2	7						
		2-4.3	12						
		計	37						
	Ⅴ	1-5.1	1			D			
		2-5.1	1						
計		2							
天瀬町	Ⅰ	1-1.1	1			A	88		
		計	1						
	Ⅱ	1-2.1	2	B	108	B			
		1-2.2	17	D		D			
	計	19							
Ⅲ	1-3.1	2							

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地利用 類及び平均 収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率	占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
		A					筑後川上流林業開 発地域
D		A		D			筑後川上流水資源 開発地域
C		A B		D D			
		A A A A		D D			8類地1
		A					筑後川上流水資源 開発地域
		A					筑後川上流林業開 発地域
		A A A		D			
		A A					
							筑後川上流水資源 開発地域
D		A		D			久住飯田広域農業 開発地域
		A					

市町村名	類地区分		土地利用の							
			水田		畑					
	類地区分及び包含される示形式	面積	土地利用占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地			
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
天瀬町	Ⅲ	1-32	15	D		D				
		2-22	25							
		2-32	8	D		D				
		計	50							
	Ⅳ	1-42	25	D		D				
		1-43	4			D				
		2-23	2							
		計	31							
	三光村	Ⅰ	1-11	5	A	106				
			計	5						
Ⅱ		1-12	2	A						
		1-21	10	A						
		計	12							
Ⅲ		1-23	1	A						
		1-31	6	D						
		1-33	3	C						
		計	10							
Ⅳ		1-24	1							
	1-34	12								
	1-43	4								
	2-44	2								
	計	19								
本耶馬溪町	Ⅱ	1-21	2	B	97	C	83			
		1-22	2	A						
		計	4							
	Ⅲ	1-31	3	D		D				
		1-32	2	B						
		1-33	3	D						
計	8									

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林			
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
D		B		D			
C		A		D			
		D		D			
C		A		D			
		A		D			
		B		D			
		A		D			
		B		D			
		A		D			
		A		D			
		A		D			
		D					
		D					
		B		D			
		C		D			
		A		D			

市町村名	類地区分		土地利 用 の						
			水 田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面 積	土地利用占有率	平均収穫量率	普 通 畑		樹 園 地		
					土地利用占有率	主要作物及び平均収穫量率	土地利用占有率	主要樹種及び平均収穫量率	
本耶馬溪町	Ⅳ	1-34	3						
		1-41	20	D					
		1-42	11	D					
		1-43	29	D		D			
		2-42	1						
		2-43	9						
		計	73						
耶馬溪町	Ⅲ	2-33	3						
		2-32	5						
		1-31	3						
		1-32	1	B	99				
		1-33	1	B					
		計	13						
	Ⅳ	1-41	45	D		D	88		
		1-42	12	D					
		1-43	30	D					
		2-33	5						
		2-41	33						
		2-42	20						
		2-43	18						
		計	163						
Ⅴ	2-52	1							
	2-53	2							
	計	3							
Ⅶ	1-45	6							
	計	6							
山国町	Ⅲ	1-31	6	D	99	D	82		
		計	6						
	Ⅳ	1-41	35	D		D			

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫量率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率		
		A B B B A		D C C C D			
		B B B B B		C C C			
		B A B B C B C		C D C C B C B			
		B		B C			
D		B		C			
		B					
		A	D	D			

市町村名	類地区分		土地利用の						
			水田		畑				
	類地区分及び包含される示性式	面積	土地利用	平均収	土地利用	主要作物	土地利用	主要樹種	
占有率			穫量率	占有率	及び平均	占有率	及び平均		
山国町	Ⅳ	2-4.1	41						
		2-4.2	29						
		2-4.3	7						
		計	112						
	Ⅴ	2-5.2	1						
		計	1						
Ⅶ	1-4.5	1							
	計	1							
院内町	Ⅱ	1-2.1	2	A	104				
		1-2.2	2	B					
		計	4						
	Ⅲ	1-2.3	3	B					
		1-3.1	6	B					
		1-3.2	8	D					
		1-3.3	15	D					
		2-3.2	7	A					
		計	39						
	Ⅳ	1-4.1	6	D					
		1-4.2	4	C					
		1-4.3	33	C					
		2-2.3	3						
		2-3.3	4						
2-4.2		10							
2-4.3		12							
計	72								
安心院町	Ⅰ	1-1.1	1	A	102				
		計	1						
	Ⅱ	1-2.1	2	A					
1-2.2		7	B		D				



現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類 及び平均 収穫率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要利用 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率		
		B A D		C D A			
				A			
		A		D			
		C					駅館川農業開発地 域
D		C C A B		D C C			
C		A A B B B B B B		D D D C C C C C			
		C					駅館川農業開発地 域

市 町 村 名	類 地 区 分		土 地 利 用 の					
			水 田		畑			
	類地区分及び包 含される示性式	面 積	土地利用 占有率	平均収 穫量率	普 通 畑		樹 園 地	
					土地利用 占有率	主要作物 及び平均 収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 及び平均 収穫量率
安 心 院 町	計	9						
	Ⅲ	1-1.3	1	A				
		1-2.3	7	B		C		
		1-3.1	6	A				
		1-3.2	13	B				
		1-3.3	32	C			ぶどう	128
		2-3.2	21				D	
		計	80					
	Ⅳ	1-4.1	5	B				
		1-4.2	4	D				
		1-4.3	22	D		D		D
		2-3.3	10					
		2-4.2	9					
		2-4.3	4			D		
計		54						

- 注 (1) 収穫率は市町村の平均を初欄に表示した。  
(2) 畑はそさいに統一し各差が対比する意味で表示した。  
(3) 樹園地の作物名の表示のないのは柑橘である。

現 況							備 考
草 地		林 地				空地その他	
土地利用 占有率	草地の種類及び平均収穫率	人 工 林		天 然 林		土地利用 占有率	
		土地利用 占有率	主要樹種及び平均収穫量率	土地利用 占有率	主要樹種 収穫量率		
		D		D			
		D		D			
		C		D			
		B		D			
		B		C			
		B		C			
		B		C			
D		A		D			

8 類地 1

